西門雜話

過激派天下の始めの頃は例の憎氣のないブルジョワは其住宅から恐る／＼這ひ出して吾々に斯う云つた『非道い事ですが永く續きませぬよ。續き得ませぬよ……』然し吾々彼等の言ふ樣には行くまいと思ふて居た。さう思ふたのには譯がある。勿論レニンやトロツキが失脚したら數百萬の悦ぶ者のあるは疑ないが。然らば果して誰が之を實行するだらうか。

ブルジョワであらうか。彼等は到底實行は出來ぬ。彼等は利己で且つ卑怯である。市街に降り立つて赤衛の彈丸に酬ゆるに彈丸を以てする者は彼等ではない。彼等は痩せ衰へるまで其失ひたる富の事ばかり考へて居る之を取り返すの日が來るだらうとの望みは繋いで居るがさらはさて痛いこと危ないことは大嫌ひで、彼等は唯外國の干渉ばかりを一向當にしてゐるのである外國人が來て萬事舊に復して、戰前の結構な生活に歸し異れる樣にと願つて居る。獨逸人來たれ、英土利人來たれ、トルコ人來たれ日本人來たれ、敵でも何人種でもかまはぬ。昔の快樂が出來ればよいといふ心底である彼等には道義觀念は少しもない彼等の頭に落かつた艱難は今の百倍でも足りぬ。未來永劫復興の出來ぬが正當である。

然らば民間黨で過激派に拮抗し得るものがあるかといふと、ケレンスキ派より外にはないが目下散々バラ／＼で或は獄裏に呻吟しつゝあるもあり外國に逃げてゐるものもある。そして此派の者の政治的手腕の程はもう分つてゐる。無能力を示したではないかとの批難もあるが徒らに豫言を好むではないが結局は外國干渉がなくてはソヴィエット政府はまだ大分續くと云ひ得ると思ふ。其地位は今の處中々固い。大多數の慾望を土臺にして居るのであるからである要求には限りがなく與ふる物には限りがある。供給が需用を充たすこと能はざるに至つた日が過激派の最後である。但しまだ革命の最後ではない。政權の遣り取りはまだ度々あらう。外國の干渉なしでは果してはあるまい。

千九百十八年四月三日
露國コラに於て

右は著者の首章と結論の大略の抄譯である、讀者に興味があるか分らぬから是位にして置く、是でも長すぎたかとも考へる。

外國も大分干渉したが效力はなかつた。あれ以上の事は出來るものではない。レニンの世はまだどれ程つゞくか分らぬ饑饉が其滅亡の原因となるかは疑はしい。著者の慎重な豫言も外れたかと思はれる（抄譯終り）

文化生活と朝鮮の住宅（二）

岩崎徳松

我國にても本年に至り住宅法案を發布し不徹底ながらも低利資金の融通を計つた其他民間に於ても生活改善同盟會が各方面に就て研究され本春に至つて住宅問題に就て進歩せる意見を發表された其他各所にも住宅研究會が組織されて幾らかづゝなり住宅の缺陷を補ひつゝある狀態になつて居る

我が朝鮮に於ても昨年來此問題に對する聲が大きくなり京城府に於ても住宅を新築し又朝鮮銀行殖産銀行なども社宅を新築するとになり民間には住宅組合が組織されて幾家族かゞ從來棟割長屋に雜居して豚類の如く生活してゐた狀態から救はれんとしてゐるのである尚聞く處に依れば總督府に於ても住宅缺乏の實況調査中とのことである是れも其中には必ず何等かの方法に依つて救濟の方法を立てられることであらう斯くの如く拂底せる住宅の爲に破壞されて居る家庭を救はねばならぬと言ふ事は既に一般の注意を促すに至つて居るので誠に結構な事である然しながら茲に最も注意を要すべき事がある夫は不完全なる家屋即ち貧民長屋を多數建設して其で救濟の事成れりとするは誤つた考へである是等は住宅問題の眞意義を知らざる者であつて却て社會に害を及ぼすものである何となれば眞の救濟は其内容即ち質の完備せる住宅言ひ換ふれば健全なる住宅を豐富に供給する事によつて初めて此目的を達することが出來るのである然るに朝鮮にて今日救濟の目的にて建設されつゝある家屋は遺憾ながら殆ど皆不完全なる住宅ばかりである（尤も朝鮮銀行等は充分研究の上殆ど完全なる社宅を建られつゝあるが）建築は元より經濟問題と關聯するので之れが實行は困難であるには相違ないが併し又研究の仕樣では必ず解決の出來る左程六ヶ敷問題ではないのである氣候温和なる開放的の內地の建物を其儘移植するは大いに考ふべきことで[illegible]の如き冬季寒度以下[illegible]下する處では內地風の建物は老人や乳兒の爲めには最も不衛生である戶障子の透間から遠慮なく吹き込む風は小兒の咽喉を冐し如何に水蒸氣を立てんとしても皆吹き亂されて室外も室内も殆ど違ひはない狀態になるのである小兒の死亡率の多きも亦之と關係を持つて居る樣である

然しながら私は高價なる家屋を建設せよと言ふのではない、便利と衞生に適し住み心地好き經濟的の家屋を最も安價に建築すべく研究されん事を願ふものである

住宅が人類生存上重大なる關係を有すると言ふ意味が甚だ不徹底な爲に何等新しき知識をも有しない大工に一切を委せて建築されつゝある樣である其れと今一つは總督府で未だ建築條令を發布しないからである重ねて言ふが死亡率の減少及飲酒犯罪等に打克には衛生的なる家屋に依り不幸を變じ樂き善良なる家庭を作るには完全なる家屋によるものであつて健全なる國家は又健全なる家屋を基礎とするものである

斯住宅問題は人類生活上最重大なるものである故各自根本的に研究し充分なる解決を告げねばならぬもので特に朝鮮の如く故鄕を離れ寒き國にて活動しつゝある各自は其住宅につき一層研究を遂げねばならぬ

私は之が救濟の方法として先づ總督府が各監獄所在地に一大煉瓦工場を設置し一般に安價なる煉瓦を供給し耐水耐寒的に然も構造宜敷住宅の建築を獎勵する事を切望する之に次で府當局は府の一技術者に一任せず官民合同の住宅建築評議員を選定し充分調査の上設計建築すべき事或は其室割の如きは朝鮮在住の一般の者へ懸賞に附する事も一案であると思ふ又總督府に於ては充分吟味調査をなして個人住宅の建築準則を定め一般の者に對して建築の許可を受しむるがよいと思ふ以上數件を實施すれば朝鮮に於ける住宅問題は幾分なり解決する事が出來ることゝ思ふのである即ち一般住民をして安寧にして愉快なる生活即ち文化生活を遂けしむべく相當なる施設の一日も速かに實行せられんことを切望するのである（完）

民族自決の語に謬まられたる朝鮮問題（一）

朝鮮の獨立運動の精神を鼓吹せるものは、一は米國宣教師の感化と教訓であり、二はウイルソンの民族自決主義にあるは疑ひなき事實である。かのラモントが云ふ如く、朝鮮に於る宣教師の働きの政治に及ぼせる影響は支那に於けるよりも大い。彼等知識階級は全力を竭して朝鮮を一個の民族にまで進めようと努力してゐる。

又米國著名の政論家シエリルは近く朝鮮の實狀を視察研究した結果をスクリブナー誌に寄せて日本が朝鮮を保護領として以來及びカナダ宣教師の政治運動を爲す者の多き事實を說き之を悲しんでゐる。彼はいふ。嘗つて日露戰役に當りて、米國民は日本に同情し、ルーズベルト大統領は日本の朝鮮併合を是認してゐた。そしてカイゼルのものはカイゼルに還すべく、宗教傳道は之を統治する政權者の認むる範圍內に於て爲すべきである然るに朝鮮には長年月の間居住せる宣教師があつて之を自國の如く考へ、朝鮮に起つた政變をも忘れた擧動を敢てし、或は朝鮮人の進歩に何等資する所なきものすら多々ある。かの數百の宣教師と三十萬の朝鮮人基督信者ありと稱するにも拘はらず信徒は其改宗により何等進歩の跡の見るべきものもなく、日本の佛教徒乃至は神道信徒にも及ばざる遠き有樣であること朝鮮獨立煽動の責任の歸著は暫く措いて、今は其の影響を見ることしやう。マッケンヂイは英國の通信員として常に朝鮮の同情者であるが、其近著『朝鮮の自由獲得戰』は日本の軍國主義的朝鮮統治を糾彈し最後に鮮人の救濟を基督教界及英米カナダの政治家に訴へてゐる。

（譯者曰彼は昨年十月英國に於て國會議員其他を糾合しリーグオブフレンヅオブコリヤなる會を組織し、朝鮮の現狀を英人に宣傳し以て輿論を喚起するに力めてゐる）

彼の描ける總督府の獨立運動に對する鎭壓策は一讀人をして眸を合はや、かならしむるものがある。併し東京政府も之を認め、動亂の經驗となり朝鮮總督政治の改善を約し、憲兵制度を廢し之に代ふるに警察制度をなし自由政治は布かれ、鮮人は日本人と同樣の市民權、自由及特權を享有するに至つたのである。

新義州より

十三日夜　宮手生

▲今朝義州唯一の名所たる統軍亭に登り候處、亭上の展望頗る宏闊にして鴨綠江を隔て、虎山九連城、安東縣等を望み、日淸日露戰爭當時の戰跡一眸の中にあり。亭內には山縣公を始め木越中將其他各將軍の篆額あり。特に山縣公は日淸戰役當時自ら此亭上に於て皇軍を指揮せし旨を記し、目前當時の光景を觀るが如き心地致し候。

▲午後自動車を驅りて義州より約七里の鴨綠江上流を視察致し候。先づ玉江鎭と云ふ江岸に至り、駐在巡査に警備の模樣を尋ね申候處、同巡査は頗る緊張したる態度にて江岸警備の困難なるを說き、殊に零下三十度の結氷期に際し、晝夜江岸に立つて警戒の任に當るは全く命懸けの仕事なりと聞き、轉た同情に堪へざるもの有之候。

▲石黑警察部長の說明に依れば平安北道の鴨綠江々岸警戒區域は實に一百六十二里にして恰も釜山と平壤間に匹敵し、更に是を內地に譬ふれば、下の關より滋賀縣彥根に到る位あるとのことに御座候。鴨綠江々岸警備の如何に困難なるかは、是にて大體想像し得べしと存じ候。然も平安北道は大體に於て安定し、義州地方に於てすら何等の不安を感ぜざるは、全く當局者の努に歸せざる可からずと存じ候。聞く處に依れば石黑警察部長は非常な精神家にて部內の評判も頗る好きよしに有之候。

▲午後五時頃義州を出發し、自動車を驅りて新義州に到り、更に鴨綠江の鐵橋を渡りて安東を視察致し候。鴨綠江鐵橋の警戒嚴重なるは云ふ迄も無之候へども、夫れでも尚往々にして不逞鮮人を逸することありとのことに候。又以て國境警備の頗る困難なるを知るを得べく候。

▲今夜新義州に一泊し明日早朝平壤に出發仕候。新義州は人口一萬三千にして其の中內地人四千五百人支那人三千人他は朝鮮人に之有候。食後鈴木新義州警察署長を自宅に訪問し國境警備に關し、種々意見を承はり大に得る處之有候。

▲昨夜義州にて飯尾知事の晩餐會に列し、圖らずも左の一挿話を耳に致し候。

▲義州に珊瑚と云ふ妓生ありしが何時しか同地警察署の一巡査と相思の仲となりし爲め、飯尾知事、石黑警察部長も大に奔走を利かして夫婦となし今は義州を距る約十里の玉尚駐在所に勤務し、職務の傍新婦珊瑚と共に附近の鮮人四五十名に國語を敎へ內鮮融和の實を擧げつゝありとのことに御座候。（旅館にて）

大評判の娯樂世界十月増大號
秋季特別 怪談揃ひ

空中の怪／朝比奈彌太郎／怪談夢知らせ／彌太五郎と紺三／怪談親不知／盡原屋怪談／關根の苦心／親ごゝろ／島の伊三の横暴／秋の夜の雨／死の瘋癲／幽靈の足音／辰巳八景／天晝樓／戀人魚／齒科醫の家／山の麓の家／雨の金谷峠／長良川と東山／幻御殿／吾家の佛壇／家傳の秘藥／吹けよ嵐／羅漢樣の顏／北海道巡り／湯本一人旅／祟られた家／懸圖八殺し／匹田絞／大懸賞

藥草講義錄
反一千圓も收益ある藥草栽培法及其賣取方法其他詳說見本附規則書御申込次第無代進呈
東京市京橋區西紺屋町　日本藥草研究會

朝鮮及滿洲
皇太子殿下の御歸朝　釋尾東邦
太平洋會議の到達點　阪谷男爵
阿里山と世界觀光地　下村博士
朝鮮最近四十年史　故國分李王職次官
太平洋會議と朝鮮
產業調查會に對して　釋尾春芿
總督府の爆彈騷ぎ
產業調查會に對して
蒙古の怪火　漱波
滿鮮問答　產業調查會　國分次官を悼む　風聞　京城現物市場問題　編輯餘滴
發行所　京城南山町二丁目　朝鮮及滿洲社

建築業界
今や建築技手大缺乏
帝國工業教育會
建築得業士

忽再版
朝鮮總督府參事官法學士　萩原彥三先生新著
朝鮮行政法
發行所　京城本町　巖松堂書店　大阪屋號

債券公債株式にて
簡易貸付
東京市麴町區内山下町（日本勸業銀行構内）　勸業債券月報社

勸業債券の當籤
東京債券株式會社

野村隈畔氏新著
現代の哲學者
學界の渴望久しかりし現代哲學思潮の鳥瞰圖愈出づ!!!
最新刊
京文社

世界少年 十月號
東宮殿下御渡歐記念畫報
東宮御出發より御歸朝まで
特別附錄 東宮英國少年軍御閱兵
敬愛し奉る東宮殿下の御幼時
其他の讀物　決死の傳令　少年水夫　勇敢な主從
新光社

早稻田大學講義錄
統裁者は大隈侯爵＝新學年開始＝講師は各學界の權威
政治經濟科
▼現代國民の活躍上の寶典にして兼ねて各種受驗者の爲に必要缺く可ざる資料▲
法律科
▼各種受驗者并に一般國民の爲に最新の法理を平易に解說せる無二の好指針
文學科
▼中等教員記者文學者たらんとする者又人格養成に資する唯一機關
中學科　商業科
各科とも秋期新學年開始　申込次第見本直ちに送呈
葉書にて申込次第各科見本附規則書直ちに送呈すべし
東京牛込早稻田　早稻田大學出版部

帝國政府の對案

大體米國意見に贊同

【東京電報】華盛頓會議の議事範圍に關し米國政府の提議に基き帝國政府は慎重講究中なるが十六日の閣議に於て内田外相より其の顛末を報告し更に具體的對案の策成を了したれば近く外交調査會を開き最後の決定を爲すこと、なり猶帝國政府の對案は大體的に米國の意見に贊同し項目の限定を提ぜず既に會商各國の諒解限度を存せしむべきを力說するかの旨と聞す

陸海代表隨員出發決定

【東京電報】來る十一月開催の華盛頓會議に出席すべき陸海軍代表に對して過般海軍側は加藤寛治中將代表隨員山梨勝之進大佐以下七名陸軍側は田中國重少將代表隨員荒木正夫歩兵大佐以下五名に決定を見たるが右陸海軍側代表及び隨員の一行は日本帝國政府の全權に先立ち來る十月一日正午横濱解纜の東洋汽船コレア丸にて出發することに決定せりと

國策研究會綱領決議

【東京發電】七博士の主唱に拘る國策研究會にては十六日午後四時より日本橋倶樂部にて會合を開き綱領決議を議定せり其の内容は曾て報道するものと大差なし

海軍制限基調案

海軍制限實行方法

【東京發電】今回米國政府より軍備制限問題に關し各國の武力を如何なる步調により又如何なる方針によりて制限するかにつき審議すべき旨提唱し來りたる由なるが我が海軍に於ては十五日水交社に開かれたる第三回三省聯合會に於て大體の對案を決定し得たるを以て近く之を閣議に附議し正式案文を作製する筈にて内容に就ては秘密に附せられ居れるも大要左の如きものなりと云ふ

一、海軍制限の基調は國防の最小限度たるを原則とす而して日本が現在計畫せる八八艦隊計畫は元來絶對國防の安全を期する目的を以て計畫せられたるものなるが世界の平和を擁護し並に國民の負擔を輕減せんがために列國と協調して此計畫に相對的制限を採用するものなり而して海軍制限の實行方法としては

(イ)船形及噸數の制限、(ロ)砲力の制限、(ハ)定員の制限、(ニ)艦數の制限(ホ)新武器の制限

等各種の方法に就て審議すべく更に進んで各國海軍の公正なる比率に論及せんとするものなり

一、海軍の制限は獨り之を水上水中の艦艇にのみ要求するものにあらず當然海軍根據地にも及ぼすべきものなるに依り太平洋上に大海軍を收容するに足る大海軍根據地設置は絶對に之に反對す例せば布哇、ガム、馬尼刺等の設備は之に屬す

尚陸軍の制限に就ては陸軍と協定して提案を作製する筈なりと

佛國議會召集發表

【巴里十二日發電】首相ブリアン氏は議會を十月二十六日召集する旨發表せり

愛蘭英會議案受諾

【ダブリン十四日發電】十四日當地に於て公表せる所によれば愛蘭議會は英國の提議を受諾しアーサーグリフィス、ミハエルトリウスハルタイン、リユ、サンデユフエルの三氏を交渉代表員に任命したり

海底線讓渡交渉

【華盛頓十三日發】國務省はヒユーズ國務卿の名を以てヤツプグアム間の海底電信の日本に讓り渡の件に就き幣原大使と屢々交渉せる大切の顛末を發表すべき意圖ありそは昨日の問題なるも當地駐在の各國大公使の意響として其發表以前に日本と完全の協調を遂ぐるの必要ありとされつゝあり紐育ウオルド紙の主張する所は太平洋會議開催前に日米兩國政府は同時に該問題に就て公表すべしと言へり

米兵巴奈馬を撤退

【華盛頓十二日發電】米國海兵は巴奈馬より撤退を命ぜられたり

智利ボリビヤの爭議

【ゼネバ十二日發電】國際聯盟總會は智利、ボリビヤ間の爭議を解決せんとするに對し智利が反對の主張をなせるため解決を見る事不能となり該問題解決は阻害されたり

獨逸馬克價下落す

【倫敦十二日發電】獨逸馬克は一昨日一磅につき四百馬克に下落せり

支那公使の聲明

【華盛頓十四日發電】駐米支那公使李原基氏は支那に關し聲明して曰く『支那は山東問題解決のため協議しつゝあり要するに支那は凡ての列強に對し門戸開放、機會均等を及ぼさんと努めつゝあり』と又曰く『北京政府は支那各省より日本の提案に對する各省の意見を徴しつゝあり其の返答が中央政府に全部到着する迄は北京政府は同問題に對する決定に着手せざるべし』と

李厚洪氏會議參列

【北京十六日發電】統一委員會委員たる在米中の李厚洪氏は華盛頓會議に參列するに内定せり

靳氏愈々辭職の說

【上海十六日發電】靳總理は愈々辭職し朱啓鈐氏其の後任たるべしとの消息あり

阪西中將總統會見

【北京十五日發電】阪西中將は山東問題に關し徐總統に會見せるが山東直接交渉に關し有利なる諒解を遂げたるもの、如し

日支人衝突抗議提出

【奉天十六日發電】既電十四日夜の日支衝突に關し我が領事は抗議を提出せるが

一、負傷者及破壞物件に對する損害賠償

二、責任者の處罰

三、將來の保障

三項に亙り嚴重談判を開始すると

節用九百萬元借欵

【北京十六日發電】財政部は中秋節の難關を切り抜くるため内國銀行團より九百萬元の借欵契約を成立せしめたりと

意見無しの提案發表

【北京十五日發電】山東直接交渉提案全文は我が公使館と外交部とに於て同時に發表せるが支那は此通告に對し何等可否に論及し居らず

揮發油大爆發慘事

【撫府十六日發電】アトランチツク、レフアイニング會社の揮發油蒸溜所に爆發起り十名死し二十八名負傷し數名は同建物の階上にありしが火焔を逃るゝため七十五呎の高所より飛び下り即死し其他は炎々たる火中に落ちて死滅せり

人頭稅訴訟日本勝利

【東京發電】其筋着公電、加州人頭稅問題判決文は九月十二日日本人側辯護士に交附されたるがそれによれば日本人に對する人頭稅課稅は日米條約第一條に違反するものなるを以て無効なりと確定し本件訴訟は日本側の勝利に歸したる次第なり

定例閣議

【東京發電】十六日の定例閣議は午前十時首相官邸に於て開會原首相以下各大臣全部出席内田外相より太平洋會議の議題範圍に關する亞米利加の通告並に外交上の經過に就て報告する所あり次で内外重要政務を審議し午後一時過ぎ散會した

勞働研究會

【東京發電】内務省に於ける勞働問題研究會議は再開に決定し十六日午前十時參事官室に開會し松川勅參以下各參事官出席協議會案起草委員として大島、堀切、大塚三氏に囑託するに決し其完了を待て再開する事とせり

師團長招宴

【東京發電】原首相は十六日正午上京中の師團長を官邸に招待して午餐會を催せり上原、長谷川、川村元帥、内山、立花、大井各大將藤井近衛以下各師團長參謀長等七十餘名出席原首相代理高橋藏相の挨拶に對し長谷川元帥の謝辭あり食後午後二時散會

赴任準備の上林次官

【東京電報】此度李王職次官に就任せる上林敬次郎氏は語る私は京都の生で官吏生活としては大藏省出仕稅務課に勤務して居たが朝鮮に統監府が置かるゝや四十一年に赴任して朝鮮官吏の生活に入れる以來十三年間各方面に轉任し最近は咸鏡北道知事をして居りましたが相當の年齢になつたので役人生活を打切り民間の事業に携はらうと思つて今回辭職をしたが八月上旬水野政務總監が北朝鮮の一般の巡視するのであるが後任者が未だ新しいので一所に往つて居ましたので十六日の朝漸く東京に着したのでありますが夫れと同時に李王職次官就任の命が下つた譯で早速御命令を受けた次第でありますから今後一週間も東京に滯在して各宮家に伺候し李王世子殿下邸にも御挨拶のため伺候する考へである何分こうした宮中に關係した事だから隨分むづかしいこともあらうと思ふ併しながら朝鮮に永く居つた爲め幸ひに彼地の事情にも少しは通じて居り貴族にも知つた人があるから便利であると思ふ世子殿下には王子御誕生のため近く御歸鮮の筈と思ふが兎に角今後は宮内省の仕事もよく呑み込んでおかねばならぬ

東宮賜宴

【東京發電】十七日東宮殿下には山縣、松方、西園寺三元老を御召しあり賜宴の御沙汰ありたるが大隈侯も御召を蒙りたるも同侯は所勞のため拜辭せり

【東京發電】十九日正午宮中千種間に於て東宮御巡遊中供奉申上げたる諸員に對し午餐を下賜せらる、當日閑院宮、東伏見宮殿下と共に御列席あらせらるゝ筈なり

東宮台覽

京城府奉祝活寫

京城府奉祝狀況の活動寫眞撮影は東宮殿下の台覽に供する爲め總督府情報係で製作中であつた九月三日東宮御歸朝當日京城府奉祝狀況の活動寫眞映畫は其後前後四回に亙り整理の上十二日東京に向け發送されたるが多分二十一日高輪東宮御所に於て殿下の台覽に供せらる、事に御内定の由

皇儲旅館

【東京發電】英國皇太子殿下には來春三月下旬御來朝の御豫定なるが御旅館としては東京にては赤阪離宮、京都にては大宮御所、日光は特に御用邸を以て兩陛下の座す田母澤御用邸を充てさせらるべしと

市長辭表提出

【京都發電】東宮殿下御巡遊中群衆大宮御所參入の節負傷者を出したる事件につき責任を負ひて馬淵京都市長、水入同助役は十六日を以て正式に辭表を提出したり

憲政渡支議員決定

【東京發電】憲政會渡支議員は十六日抽籤の結果荒川五郎、飯塚存太郎二氏に決定せり

都市計畫と工業資源【五】

齋藤音作(投)

△日用家具たる櫛、桶類、バケツ、菓子器、椅子、竈筒の類からコツプ、匙、牛乳瓶の如きは從來木材、金屬又は硝子などにて造るものこのみ考へて居たが近頃歐米では盛に紙製品が製造せられ、家庭に於ては勿論、停車場、料理屋其他にも廣く實用されて居る。即ち歐米にては紙製の桶類が進步して木製又は陶器製の櫛、手桶、バケツ、洗面器等を驅逐する傾向があり、又獨逸及米國に於て盛んに製造販賣されて居る處の紙製漆器は(一)廉價なること(二)强靱にして破損し難きこと(三)乾燥の虞なきこと(四)變歪の恐れなきこと(五)輕くして攜帶に便なること(六)保存期の長きこと等幾多の美點ある爲我邦の一名產たる日本漆器工業の一大脅威となつて居る我邦に於ても東京工業試驗所が化學的木材パルプに鋸屑を混じて一種の漆器素地を造ることに成功し、最近其有望なることを發表して居る。

△又今日では上水道、下水道及水力電氣の疏水路などには通例鐵管及土管を使用し、漸く最近に至りて木管を代用するに至りたるも歐米にては既に紙製管を發明して之を使用して居る。紙製管は未だ進步の域に達せざるも、水の浸透性は土管は優るに勿論、或る點の鐵管にも優り、且價格は低廉にして保存期は頗る長く、加ふるに輕量にして取扱に便利である故に前途大に有望であると云はれて居る。

△製革事業は朝鮮に於ける有望事業の一であるが、將來は獸皮製革の外に、紙製革の大工業が興ること、思はれる。獨逸は戰時中牛皮に劣らざる强度を有し且水の浸透せざる紙製革を發明して靴、背嚢、馬鞍其他各方面に利用し之が爲めに皮革の輸入杜絶に苦しまざりしことは皆人の知る處である。然るに近時は米國に於ても此紙製革の製造を開始し、洋服簞笥、トランク等の製作に賞用されて居る。紙革は輕くして耐久に堪なるのみならず、其質割合に强靱なるに其價格は獸革に比し約三分の一に過ぎざる低廉なるを以て其需要は日に月に盛んであると云ふことである

△砂糖は通例甘蔗、砂糖蘿蔔などから製せられる者と思つて居るが獨逸は數年前から鋸屑を以て砂糖を製することに成功し、現に市場に於て木材糖を販賣して居る。又酒精は主として穀物若くは馬鈴薯から製せられ、今より二十餘年前からは製紙の廢液からも之を採つて居たのであるが。最近獨逸では木材の煙からも之を採ることを發明し、現に瑞典に於ては一の工業として之を實行し、米國にても大々的設備の下に之を實行せんと企て、居る。即ち今日に於ては砂糖もアルコールも共に木材から採る樣になつた。最近三浦林學博士の研究に依れば松葉は前途有望であるやうに思へる。

△又世界的工業原料の一たる木綿は只棉花から供給さるゝものと考へて居るが、獨逸では戰時中に木材パルプを以て棉代用品を製するに成功し脫脂綿及各種の織物等に應用した計りでなく、綿火藥の原料にも供用して立派に棉花の缺乏に打勝つたのである。加ふるに戰後に於ても同國の學者及事業家は熱心に之が改善に努力し、最近にも一層進步したる改良法を發明し特許を受けて居る。

產業調查委員會

第三日

產業調查委員會第三日は十七日午前九時四十分より總督府に開會特別委員部の議事に入りたるが前日午後の會議の模樣を觀るに河川及港灣に關する質問あり小野委員は朝鮮に於ける治水問題は產業と重要なる關係を有せりと思惟さる。が河川の調查は如何なる狀況なりやを質し右に對しては原土木部長現時朝鮮に於ける河川調查の大體の狀況を說明し產業及產業に關する事柄は之れにて質問打切りの動議出で更に井上委員より

委員長に一任となり

結局右は特別委員の分科及指名に移りて特別委員の分科に分つ事となりたり左の三分科に分つ事となりたり

第一分科

一般產業に關する事項、金融に關する事項、運搬交通に關する事項、社會事業に關する事項、外十六名

第二分科

農業、林業、水產に關する事項、米(棄…)其外十五名

第三分科

工業、鑛業、燃料動力に關する事項、鈴木其外十三名

の分科區分を行ひたる後中庭にて一同

記念撮影の

後午後四時十分散會せるが第三日は前日の分科に依り更に具體的質問を進むる事となり第一部及び第三部は第二會議室に第二部は第一會議室に開會委員幹事の外特に委員の質問に答ふる爲め總督府關係各事務官技師も列席嘱託は努めたるが結局特別委員會の決議は各議に提出附議せらる、事となるべし各委員共

頗る緊張質

問振り熱心にて多忙を極め午後十二時半休憩殖產局食堂に於て午餐を執りたる後土曜日にも拘らず午後も會議を續行したり

朝鮮の產業

に關する事項は廣汎且つ重大たるを以て更に細密に各分科委員會を設け更に細密に亙り質問調查を行ふ事の可否に就て動議を提出二三異論ありしも結局委員部を設くる事となりたりそれより韓相龍委員は内鮮共同企業に對する形式を排除し實質上の效果を擧げん事の希望を述べ鄕在學安基準の兩委員は

山林に關す

る意見を述べ其他松村松山各委員より產業の根本方針に對する意見等出でたる後韓非委員は朝鮮の海潮を動力に利用する事の談話を試み山を荒すを温突なりとの一般の意見に對する反駁を特に内地在住委員の參考として試みたり

維民會の建議(五)

產業調查會に提出せる

第四、林業朝鮮に於ける林野の總面積は一千六百萬町歩にして陸地總面積の七割三分を占め其の國合の多き點は世界に於ても稀なりと云ふ然るに其實際の狀況は造林地は約三分の一に止まり殘地の内約三分の二は天然生稚樹の生育地にして其三分の一は草生又は禿裸地に屬せり之は產業振興上より見ても頗る不安なるのみならず國土保安の上よりも最も重要問題なり當局に於ても從來各種の施設を講じつゝあるも氣候風土の關係上補栽すべき主要林木の種類は内地の試驗其儘適用する能はざるが故に森林令又は國有森林山野保護規則等に依り之が完成に適當なる方法を講じつゝあり朝鮮は韓國時代に林政に意を用ゐざりしのみならず人民に於ても固より造林思想に乏しく濫伐の如く全土の約七割一分の林野面積を有するに拘らず特殊の保護林たる陵園墓附屬の森林及鴨綠、豆滿兩江の流域等を除くの外は大概禿山赭野起伏し滿目荒涼を極む

朝鮮の林政を完成するには第一に民間に造林思想を普及せしむること、第二には山野の貸付は朝鮮人に限り許可し之に又特別なる獎勵を加ふること最も必要なり第二は一見極端論にして如きも熟考すれば然らざる理由あり即ち韓國時代に法律の制定し一定の期間内に地籍申告を爲さゞる山野は之を國有に編入すべき旨を發布せり

然るに同法令は餘り急激又は過酷に失せるのみならず實際に於て此法令の存在をも所定の期日をも其手續の如何をも知らずして遂に各自の山野を無理に取上げたるもの其の數を知らず民怨なしと云ふべけんや故に(一)此民怨を解く點よりしても又は(二)山林の歷史的見地と造林の獎勵上よりしても朝鮮人に限り山野の貸付許可を爲す決して其本意に矛盾することなかるべし

上林新次官は適任

青木戒三氏談

總督府庶務部長

上林前咸北道知事の李王職次官任命に就き青木總督府庶務部長は語りて曰く恐らく李王職次官としての適任者を氏以外に求むる事は困難であらう適材適所とは正に之を云つて然るべしと思ふ氏は明治四十一年の頃來鮮、度支部(?)事務に當り財政課長として紅參專賣事務に當つたが朝鮮に於て官を奉ずるには朝鮮人と親しくしなければならぬそれが爲に朝鮮語に通ずる必要があると云ふので朝鮮語を勉強した人である當時此の專門以外に高等官として朝鮮語を勉強したと云ふ者は實際異例であつたのである然も朝鮮人に對する極めて情に厚く孤兒の如き朝鮮人の子弟を敎養して今では其の男は成鏡北道で

立派に

官途に就き將來を屬望されて居る者もある位で或る氏が山林課長より出で、忠淸南道長官たるに及び道民の信望を得る事頗る篤きものがあつたが成北に赴いてからも同樣であつた過般一家の事情上よりして其の位置を去らんとするに當つて朝鮮人は皆迎一片の御世辭で無く心から惜み朝鮮人側から

留任運

動の聲を起し内地人を勸誘した有樣であつた道廳が鏡城に在る頃も所用あつて羅南等に赴く際如何程遲くなつても朝鮮人の俥に乘つて歸途に就き道々車夫と會話を試み自らも之に依つて益し又彼等を喜ばしたと云ふ事は氏の性格を現し面白い話であると思ふ人物は篤實溫厚朝鮮を去るも生涯朝鮮人の爲めに盡し度いと常に云つて居られたが再び氏を朝鮮に迎へ得た事は朝鮮の爲め喜びに堪へぬ事である

口分らない

のはドンな利益があつてアンな無價値な事を新聞社がワザ〳〵廣い紙面をつぶして發表したのかと云ふ事である若し果してコレが一部論者の言ふ如く商取引其他一般の徵用上の標準になるものとすればコレは成程大事である決して輕率に取扱ふべきものではない、然し私が大した事でないと言つたのは、元來府當局が取調べた府民の所得額と云ふものは、固より中には正確なものもあるかも知れないが、中には

甚だ不確實

なものがあるのであるそこで態々協議會を開いて不公平のない樣に協議員即ち三十萬市民の代表者に諮るのであるだから此協議が濟まない内は所謂所得額調查帶なるものは未成品で確實な信用上の標準となるべきものではない、と同時に此不確實なものを何かの標準にしようと云ふ、一般の人々も甚だ輕卒だと思ふ、此意味からして甚だ突飛な意見の樣ではあるが、本件は大した事ではないと主張したい。若し向後の爲め必要ありとならば然るべき方法を以て洩らした者を懲戒するもよろしからう。甚だ不得要領ではあるが私としては大略以上の意見である

新聞社の氣

が知れないと同時に此不確實なものを發表する

所得額查定了

京城府戶別稅所得額查定の府協議會部分會は十六日を以て結了し十七日午後二時より同委員會を開催續いて本會議を開き愛に所得額查定を終了すべし

機密漏洩問題批判

新聞社の氣が知れぬ

府協議員 河村千治郎氏談

機密漏洩問題は協議會に於ても段々議論が沸騰して來て所謂硬派あり軟派ありまた折衷派もある樣である私は何れに屬すると云ふのでもないが要するに大した事ではないと思ふ只秘密として居たものを人に見せるとか人の手に渡すとかしたのが惡いと云ふ位な事で大した惡意があつた譯でもあるまいまたコレが洩れたからと云つて大した事でもあるまいと思ふ隨つて洩らした者が分つても大した制裁に値するものでもあるまい只將來を戒める位に止めて置いた方がよいと思ふ。

辭令

十六日附左の通り任命ありたり。

京城師範學校敎諭 白井規一

兼任ニ府學校試學官(六等)中務局勤務を命ず

中學校長鮮滿視察

【東京發電】全國中學校長九十三名より成る鮮滿視察團は十月六日釜山に集合し京城に三日間滯在奉天に直行張作霖氏の招待を受け夫れより大連、長春、哈爾賓、鄭家屯、四平街、安東

面事務所新築

全州面事務所は曾て...

人事消息

▲三田樂喜氏(咸南内務部長) 十六日夜入城京城ホテルへ

▲伊森明治氏(平壤殖銀支店長) 十七日朝退城

▲切山篤太郎氏(辯護士) 訴訟用にて公州大邱方面出張中の處十六日夜歸城

▲須貝喜氏(辯護士) 裁判用件にて

▲倉茂三雄氏(航空學校敎官步兵少佐) 十六日來大方面より歸任十七日夜内地へ向ふ

▲岡村正雄氏(京管線路主任) 保線上の用務の爲往復三日間の豫定以て十六日朝京釜線へ出張

▲三岡隆一郎氏(内務監察官) 十七日朝入京

▲原田大尉(京畿道) 十八日平康へ出張二十二日歸任

大分縣視察團狀況

【釜山電話】大分縣滿鮮視察團一行二十七名は今朝上陸直に府内を視察し十一時にて京城へ向へり

大邱府に出張中の同氏は十七日...牛(?)壤等を回遊し十一月一日歸縣の豫定なり

咸南牛疫豫防

牛疫防の爲め當分の内咸鏡南道德源郡豐下面に牛、羊、山羊等の搬出を禁ずる旨十八日告示を以て發表さるべし

湖南線裡里會議

來る二十日湖南線裡里に於て縣長及主任會議を開催すべしと

●東●京●城●支●店●家●族●慰●安●會 既報の如く東拓京城支店にては來る二十四日京城地方移民家族慰安會を催す由なるが當日は特に活動寫眞の外松旭齋天直一行の奇術茶番其他の餘興を催し尚ほ十月二日は水原東拓支店跡地にて運動會を催し相撲其他奇拔なる各種の競技を賦み餘興として前記松旭齋天直一行を出張各移住部落よりは各自のお國自慢の餘興等多數の催しある由

●櫻●井●博●士●の●體●操●講●習●會 今回九州帝國大學敎授醫學博士櫻井常次郎氏の來鮮を機とし總督府主催となつて來月二日より平壤、京城、大邱の各地に於て一日若くは二日づゝの豫定にて體操の講習會を開催する由

●仁●川●公●立●商●業●修●學●旅●行 仁川公立商業學校生徒二十六名は職員三名の引率の下に西鮮地方に修學旅行すべく來る二十日發新義州、平壤、鎭南浦、兼二浦、開城を經て二十四日歸校の筈なり

●忠●北●儒●林●視●察●團 忠淸北道儒林内地視察團一行二十四名は二十三日間の豫定を以て來る二十五日發内地は宮島、廣島、京都、大阪、奈良、東京の諸名所を視察十月十七日歸鮮の豫定なりと

●茨●城●縣●滿●鮮●敎●育●視●察●團 茨城縣主催滿鮮敎育視察團一行二十六名は十六日東京發十八日來城二十日仁川往復同夜平壤に向ひ夫より安東縣を經て滿洲に向ふべしと

●新●聞●差●押●へ 十三日附東京朝日一萬二千六百六十六號同讀賣一萬五千九百七十六號遼東日報五千四百六十六號十四日附門司新報二千五百四號各紙は何れも治安妨害の廉を以て差押へられたり

湖南行【13】

三笑生

青春の氣に充つ群山港

私は久方振りに群山に來て先づ驚いたのは、其の發展の著しいとでした。數年前の私の記憶に依ると、停車場と市街との間は只だ一筋の道が、畑の中を通り市街に向つて、停車場から市街まで家らしい家とては、一つも見受けられず停車場の市街から餘りに掛け離れてゐるのを寧ろ不便に思つたのであるが、今では寸土も餘さぬ程に商店が立並んで立派な市街となり、商業も亦殷賑を極め、私等行人をして轉た今昔の感に堪へざらしむるものがありました。

そして市街には、建築が盛に行はれて、小學校の如きは、大枚六萬圓を投じて增築すると云ふ勢いであり、其の結構全北第一と稱せられて居ます。又山街日貨の場所には、立派な公會堂が峨々として新築さる、など、山の此頃は恰も元氣に充ちた青年のやうな氣分が、市街の隅々にまで充ち滿ちて居ります。是により宮崎府尹の驍力の如何を略察知することが出來ませう。私の宿泊した谷口旅館には新任全北知事の交角さんが、恰度宿泊して居られました。知事は着任後の第一巡視として、此の地に來てゐられるのです。そして私の泊り込んだ其晩は、府内の重立つ者百餘名を招待して新任披露の宴が開かれたばかりの所でした府民は、新知事を迎へて歡喜極まりなきもの、如く、新知事の歡迎會は、新築の公會堂で盛大に行はねばならぬと、未だ完成せぬ公會堂を急に片付けるやら萬國旗で裝飾するやら準備に忙しかつたやうです。其日前から公職員諸掛で歡迎有志は、新知事の歡迎會で、公會堂の神聖落しが出來ますと悅に入つて居りました。

私は先づ群山の大體を一瞥しやうと、一人飄然として宿を立ち出で、市街を一巡して、海岸から公園に出で、附近の景色を賞しました。街衢の整然たること家屋の整齊せることは、可なりの美觀を呈してゐます。風景としては別に取る者もありませんけれど背後の山の形が面白く、公園の松林も愛するに足る。呼べば答へんとする舒川半島に、林が鬱蒼と繁茂して來たならば一段の佳趣を添ゆることであり ませう。(群山客舍にて)

木材界

こにより製材界は非常の活氣を... 吉林材の進出に遮られ居た... 以て每年仲秋季節以後に於て多... 額を以て終航となる見込みなる... 月中の水揚高を聞くに一萬三千... て十七日出帆大阪へ直航同年安... 山丸は木材八十二萬才を搭載し... に取締規則を制定する必要ある... 困難しつゝありたるも最早殆ど... [illegible]

[illegible]の上に一道の光明を認め得べしご餞報せしが果然之等の事實は[illegible]鐵道[illegible]オストロモフ氏[illegible]の間に四日間滯留各方面視察應酬に多忙を極めたるが尚同夜ヤマトホテルに於て盛宴を張り早して同夜十一時臨時列車にて著運せり一行滯留中に於ては滿鐵主として接待の任に當りたるが[illegible]

營口通信

▲營口滿鐵移管の理面 營口移[illegible]滿鐵中川理事の日く『滿鐵にても行政の統一上移管の必要は認むる所又陸軍側よりも嘗て協議を以て唯準備して先方よりの進行を待ち居る次第なり尚ほ別個の問題ながら營口に滿鐵公所設置に就ては未だ熟議する所にあ[illegible]に依囑し來れりと關東廳山縣長官は營口の土地問[illegible]

▲營口劍道大會 營口警務所及び滿洲新報社主催となり來る二十五日日曜を卜し劍道大會を催[illegible]希望すると

▲營口八月末戸口 營口警務署管内(即ち營口及び鄉州の邦人戸口十は總計八百十九戸(內鄉州[illegible]

▲營口乃木會 十三日午後七時半より營口正念寺に於て開催各宗僧侶の讀經に次で左の講演あ[illegible]時會する者約二百五十名近來稀の盛會なりき

定州の發展
入口著しく增加

【定州】京義線定州は解氷以來新工事多き爲め非常の活氣を呈し人氣も良好なるが最近戸數に於て八十餘戸人口約五百を增加し尚ほ續々增加の見込みあり主なる工事を聞くに郡廳舍一萬五千圓、普通學校の郡廳舍の工事約二萬圓警察署六千圓其他地方の大小工事約三萬圓等の建築あり土工にありては同仁水利組合は三年繼續事業として約三百萬圓朝鮮土地會社の塩田工事一昨年の着手に掛り約十五萬圓を支出し瑞穗農場の工事三萬餘圓あり其他の小工事は枚擧に遑あらず故に一般の經濟界は非常に膨脹したるを以て最近銀行の支店又は出張所の設立を希望する聲漸く高く一部の有力者に於て既に其の運動中なり定州金融組合は平安北道唯一の成績を示し預金貸出の如きも當組合の右に出づるものなしと云ふ

南原の將來
有望視されてゐる

【全州】全北南原は山間部としての都市であるが同地の商業は奥地其他鮮人出市のため稍見る可きものあり全州より十五里間は自動車又は荷馬車にて往來頗る頻繁を極め將來有望視され居れるが最近に至り建築界としては二年間繼續の慈惠醫院は目下病舍其他著工中近く殖銀支店舍宅、警察署の新築郵便局其他にて他地方より入込來る者多く住宅の不足を來し商市街電話も新設さる筈にて益々有望地となれり而して來る十二年度には南朝鮮鐵道敷設の豫定なれば斯くなる上は交通の便も好く有望なること疑ひなし

元山上半期貿易【上】
五十五萬餘圓入超

【元山】本年上半期の當港貿易價額は貨物は輸移出二百八十萬五千二百七十三圓輸移入三百三十六萬七百三圓輸移出入計六百十六萬五千九百七十六圓通過百五十圓合計六百十六萬六千百二十六圓で前年同期に比較し輸移出二十九萬七千八百三十四圓(一割一分九厘增)を增加し輸移入三百七十五萬六千七百四十圓(五割二分七厘減)

輸移出入合計 三百四十五萬八千九百六圓(三割六分減)通過五萬六千九十三圓(九割九分七厘減)合計三百五十一萬四千九百九十九圓(三割六分三厘)減少し金銀は輸移出皆無輸移入二百卅一圓で前年に比較し輸移入二千九百四十四圓を減し各種貿易を通じて五十五萬五千六百六十一圓の輸移入超過に結果し前年同期に比較し入超額四百五十五萬七千五百十八圓(八割七分九厘減)を減少し從來稀に見る入超額の減少を示した而して上記前年對比貿易增減の事由を見るに

前年の同期に比較し 減少せるは財界變動の爲め貿易當業者の受けたる痛痍尚未だ癒えざるのみならず大正八年の不作に加ふるに物價下落の爲め農民の購買力著しく減退せるに原因し主として粟の減少せるが爲で布袋及石油之に次ぎ減少し綿布類の稍增加せる外他は概ね減退した斯の如く本年上半期に於ける貿易

輸移出の比較的好況なりしに反し輸移入は半減以上の減退を來し著しく不振であつた之れ上記の如く貿易當業者が財界の變動より受けたる打撃未だ回復するに至らざるを一因とするも大正八年の不作原因し受けたる影響甚だしかりしに拘らず物價の下落の爲め一般農民は窮迫甚だしく大正九年の豐作も以て尚購買力を回復するに足らざるを主因とす而も綿布類等の入增に見る可く購買力增進の兆の認む可きもの なきに非ざるのみならず

輸移出の增加 せるは昨秋の豐作に原因し大豆の出增著しかりしが爲で其の他各品は概ね減退を示し就中肥料及鐵類の減退が甚だしい輸移入の減

大豆の移出增 著しく農家經濟を霑ほすこと多きに考へ本年後半期に於て輸移入貿易の增進を期待し得べしと觀測せらる然り而して其の詳細は左の通りである

●大正十年上半期元山港貿易價額前年比較表(圓)

區別		十年	九年	增減額	增減步合
貨物	輸移出	二、八〇五、二七三	二、五〇七、四三九	(十)二九七、八三四	(十)一一・九
	輸移入	三、三六〇、七〇三	七、一一七、四四三	(一)三、七五六、七四〇	(一)五二・七
	合計	六、一六五、九七六	九、六二四、八八二	(一)三、四五八、九〇六	(一)三六・〇
	通過	一五〇	五六、二四三	(一)五六、〇九三	(一)九九・七
	合計	六、一六六、一二六	九、六八一、一二五	(一)三、五一四、九九九	(一)三六・三
金銀	輸移出	…	…	…	…
	輸移入	二三一	三、一七五	(一)二、九四四	(一)九二・七
	計	二三一	三、一七五	(一)二、九四四	(一)九二・七
總計	輸移出	二、八〇五、二七三	二、五〇七、四三九	(十)二九七、八三四	(十)一一・九
	輸移入	三、三六〇、九三四	七、一二〇、六一八	(一)三、七五九、六八四	(一)五二・八
	計	六、一六六、二〇七	九、六二八、〇五七	(一)三、四六一、八五〇	(一)三五・九
	通過	一五〇	五六、二四三	(一)五六、〇九三	(一)九九・七
	合計	六、一六六、三五七	九、六八四、三〇〇	(一)三、五一七、九四三	(一)三六・三
輸移入超過		五五五、六六一	四、六一三、一七九	(一)四、〇五七、五一八	(一)八七・九

雄基港と各航路
この船も寄港する

【淸津】六月一日を以て開港されたる雄基港に向つて、今までは朝郵汽船の阪神浦鹽線たる釜山丸、慶津丸、平壤丸のみが往航のみ寄港し居たるが、今回大阪商船の安平丸、宮島丸の大阪雄基線の兩汽船、神戸互光商會の第三琴平丸(以上三隻は指定御用船)も雄基に延長寄港する事となり、大阪商船が大阪雄基線と成るので安平丸の本月十六日の初寄港を手始めに漸々實現するのである、最近に計畫され本月十八日淸津入港を見んとする尼ヶ崎汽船の神代丸(八百噸)も亦同航阪神雄基線を就航する事と成つたさうだから雄基港の交通は俄に頻繁旺盛となるであらう

淸津貿易盛況

【淸津】八月中の輸出入當港貿易額は輸移出に於て四十七萬三千五百六十九圓、輸移入に於て六十八萬二千二百八十一圓を示し之を前年の同月に比して輸移出三十三萬千六百六十三圓、移輸入三十一萬一千六百三十三圓の激增を來した、出の部の重要品は大豆、小麥、木材、海産物、肥料にて入の部の主なるものは白米麥粉、砂糖、金物、綿、金巾セメント等である

商議提出案

【釜山】來る十月十二日より向ふ三日間平壤に於て開會に決せる全鮮商業會議所聯合會に釜山商業會議所より提出せらるべき同十五日より引續き開催さるべき全鮮商業會議所聯合會に提出せらるべき一問題に對する提案左の如し

一、朝鮮鐵道をして國際交通機關たる本能を完からしめんが爲め滿鮮兩線に對し常に機會均等の經營主義を取られんことを要望す

理由 滿鮮兩鐵道は今や均しく國際交通機關にして同一主義の下に經營せらるゝにも拘らず經營會社の鐵道政策が動もすれば大連中心主義何くの結果自然鮮鐵の經營上遺憾の點なき能はざるを認むるを以て本案を提出せる所以なり

拂込終る
朝信株證據金

【仁川】朝鮮信託株式會社株引受證據金拂込み期日は九月十五日限りとなり若し當日迄に拂込まざる者に對しては當然失權となるべきものなりしが京城に於ける人氣の頽勢より或は悲觀説の流布となり十日の如きは仁川にても二圓五十錢見當の安値に賣買行はれたるが強氣樂筋にては更に失權株の拾ひならつて再び割當を要請せんものと頗る拔目期待を繋ぎし向きもありしが拂込の結果は全く出の悲觀説を裏切り野心家の期待に反いて全部完了仁川にては不在其他の事由に依り僅に五十株の失權を生じたるのみにて此の株數三萬七千餘株京城割當の約三千株の如きも亦悉く拂込完了聊か意外に感ずる程にて失權株の拾ひ物豫想は全く夢想に終れりと

釀造品評會
馬山にて開催

【馬山】慶尚南道にては十月十日より五日間馬山府にて第三回釀造品々評會を開催し汎く全鮮生産品を網羅して斯業の向上發展に資すべく目下それ〴〵準備を急ぎ居れりと

慶南の稻作

【晉州】慶南の稻作は十日前後の照り込み不充分と農民が施肥を節約せし結果株張り充分ならざるも本年は水害及び虫害を免れ、故收穫石數は平年作に達すると見込みにて作付反別は三十六萬千八百四十八町步なり

陸地棉減收

【晉州】陸地棉は雨量多かりしと照込不充分の結果成績不良にて九分作に達せざる見込にて收穫豫想は一千三百四十九萬五千〇六十二斤にて例年の如く十月一日より販賣を開始する由

鹽田竣功式

【平壤】廣梁灣專賣局出張所では昨年八月より龍岡郡貴林面所在平安鹽田三百餘町步築造中であつたが十六日竣工したので愈よ十七日午前十一時より盛大なる竣工式を擧行した因に今回竣工の分と既成鹽田を併せ約千五百町步に達する譯である尚南市に築造すべき鹽田二百餘町步の工事請負入札は此程終つたが二十六萬圓で鎭南浦橋本組に落札した近く工事に着手する筈

商專校落成
二十三日擧式

【新義州】新義州公立商業專修學校落成式を來る廿三日午前十時より同校講堂に於て擧行に付鎭新府尹は新義州、義州及安東の官民約百五十名に夫々案内狀を發送したるが其の順序は左の如しと

△生徒來賓一同着席△府尹開會の辭△君が代の唱歌△工事報告△府尹の式辭△知事の訓辭△來賓の祝辭△校長答辭△閉會△終つて開宴

對岸視察團
咸北から初めて

【淸津】昨秋來、對岸各縣から頻りに視察攻めに成つて居た咸鏡北道でも官民大に奮發し、今回淸津の北鮮日報、羅南の北鮮日々新聞の兩社聯合主催の下に團員を募集中である、出發は本月二十五日の能登丸にて日本海を横斷して能尾に上陸し、夫れより伏木、高岡、富山、金澤、小松、大聖寺、福井を經て十月四日敦賀港にて自由解散の運びとするので、參加希望多く、

準からは萬城府尹も同行する筈道廳でも此の催しには多大の賛意を表し相當の補助斑勵を與ふる事に成つて居る

○慶尚道の觀察團【新義州】慶尚北道尚州郡觀察團一行五十餘名は來る二十六日新義州に來り當地及び安東縣を觀察すべく又慶尚南道梁山郡觀察團一行二十名は來る十月三日新義州に來り當地及び安東縣を觀察する筈

新義州學校組合會議

【新義州】新義州府學校組合會議を十六日午後一時より招集して小學校增築工事の件に付協議したり

仁川の武德館
落成式
武道大會を開く

【仁川】仁川武德館は既報の如く本月末を以て全く竣成を告ぐる筈であるが來る十月二日午前十時祭壇を設へ修祓を行ひ崇嚴なる

開館の擧式 を行ふ筈となつて居る當日は儀式に依つて柔道の型並に亂取りを行ひ劍道部も亦劍道型や模範稽古を行ふべく夫々準備されて居る、斯くして二日開館式を終了すると同時に其の使用を開始し健兒は毎夜猛烈なる練習を初むる豫定となつた、仁川體育協會では

秋季武道大會 を來る十月三十日卅一日の兩日に亘り擧行する事に決したが三十日は午前九時より劍道並に銃劍術部の大會を行ひ卅一日の天長節祝日には午前九時から柔道部並に弓道大會を開催する武德館使用開始後約一ヶ月間の猛練習を積むだ仁川健兒の奮闘振りが今から期待さるゝ譯である因に

如何に壯觀を 呈するかは十四日夜武德館使用開始に就いての打合せ並に大會準備等の協議を遂げたるが更に幹事委員役員の補缺選擧を行ひ從來の役員と共に左の如く決定し陣容全く整へられた

▲劍道部 理事代理 澤熊、幹事 畠山、奥村、三輪、大久保、深川 委員 友永、村田、松岡、吉岡、江里口、金原、八田、原野、庄子 ▲柔道部 理事 增田 幹事 吉田、庄子、白石、森武、深見 委員 岩本、桃原、廣田、藤井、佐々木、宮田、中川、森彦三、佐島野、吉本

路に迷うた心細さ
東道役も詰くなる 呼子の主は誰ぞ? 神の助けと喜ぶ男
智異山天幕探檢記(五) 曉天生

秋の陽は暮れるに早く今しも千尋の谷間に落ちんとする一行の足は愈々疲勞を覺ゆた、前衛の先發部隊は細石峰も屆かず前進した先發部隊は細石峰の一千七百六十米突の頂上で道を失ひパタと行き詰つて了つた 陽は遂に沒し盡した寂さだに雲に繞ゆる此の高峰寒さ身に沁て物の哀れを感ずるのである。折しも數丁先に出發してゐた宮入氏は『駄目です…此先何程急ぐも今晩中には何うすることも出來ない』流石の山の主も聊か愁はしげな顏付『之から後へ一直線に行けば誰か人家がある筈です』と云ふに一同力を得て約半里余を引返した。其處に幸ひ右と左に小徑がある 其小徑を左にとれば降りになるので茲に後部隊の目標にと名刺に『道を左に取るべし』と記した標札を立て置いて降る。されど降りても〳〵麓らしくも思はれず道は愈々險しくなつた。千古の苦蒸した岩に足を取られ、倒れた大木から落ちて悲鳴を揚げるものもある。愈々日は暮れて咫尺も辨ぜぬ暗さとなつた。三輪、宮入兩君も懸命になつてはゐるが到底今夜麓に辿り着き得べくもない。 何處でもよい、露營しようではないかと誰かゞ弱音を吐く、夫れにしても水のある處でなくばと降る事數丁、軈て三輪氏が『オーイ此處だ!此處だ!水を見つけた』と呼ぶ聲を便りに辿り着いて一行は漸く淸水の流れにホッと息を吐き斷食のまゝ明朝まで此處で露營することに腹を決めた。暗夜、もう道は歩いてはゐられない。が後部隊が何處で露營するかを手探りに薪を集めて 火を焚きはじめたが さて燃ゆ點かばこそ種々工夫した結果何うにかトロ火が燃ね出した之で一安心と思ふ時遙か上に當り呼子の音が聞ゆる。笛の主は我々の傍に辿り着くや色も蒼ざめて『アー神よ我をして暫らく休ませ給へ』と倒れかゝつた。と見れば洋山から參加して洋山小學校敎師の非上君であつた。『隊から離れた心細さに勞れた足を引摺つて匍ひ降る折しも遙くに火影が見ゆ』思はず嬉しと叫ぶ刹那あはれ十數尺の斷崖より轉がり落ちた。それでもお見かけの通り無事であつたのは偏に神に祈つたお蔭であらうと泣くが如くに語る。焚火は漸く勢ひづき天に沖せんばかり燃えさかつて來た

仁川野球リーグ戰
後援會の準備全く成る

【仁川】仁川野球後援會主催の仁川リーグ戰は來る十八日より第一回戰に入る豫定で既にグラウンドの整備賞品の準備等全く成り各チームは猛練習を 續けて其日の到來を待つ、あり後援會では十六日午後八時青年會館で各チーム代表者の集合を行ひ組合せ抽籤を行つたが參加チームは仁商、仁中、淸勇、銀行、米信、港友、加登、エベト、實業、アサヒ同志の十一チームに達し之れに少年野球團八チームを算して居る以て如何に選手が熱狂的の應援をして居るか、窺はる。が全市のファンは全く夢中で唯歡喜して此日を迎ゆるの有樣である果して如何なる競合せが見られるか如何なる好試合が見られるかグラウンドは觀衆の山を築くだらう

野球椅子發明

仁川のスタンドが甚だ以て不完全でありファンは手ん手に新聞紙を敷いて之を尻に敷いて觀戰する有樣であるが此の不便に備へしめようさ村谷相具店では野球椅子なるものを發賣した、輕便な折疊み球場に提げてゞつて安樂に腰を下さるゝと云ふ豫定價は貸敷の一圓五十錢で提供するそうであるファンに取つては便利であらう

青年會の秋遊會

【平壤】平壤實業青年會にては十五日夜第百三十四回例會を開き同會の年中行事たる秋遊會開催に就て協議したるが勝湖里セメント會社を見學すること〳〵なり幹部の外に補助機關として委員五名を擧け設備其他の衝に當らしむる事に決定せり因に從來

卻々の賑ひ
八幡神社大祭

滿鐵安東地方事務所に於ては鎭江山麓八幡神社の大祭を十五日午前十時より執行滿鐵側より山中事務所長文官總代稻葉郵便局長武官總代金井佐次氏民間總代中川普記長等の參拜あり神社々司祭祀の奉奠等厳粛に祭事を終り午後は餘興として素人相撲の奉納太陽樓美人連の餘興しの奉納あり當日秋容碧殘若術激しかりしも安東新義州よりの參拜者非常に多く卻々の賑を見たり

下関女史仁川へ

【仁川】仁川愛國婦人會委員部にては下田歌子女史一行の仁川來訪が十月九日と決定したるを以て當日愛國婦人會並に篤志婦人會の總會を開きて會況を報告し講演會を開催の豫定なりと

殊勝な心掛(淸津)

淸津の道評議員四元嘉平次氏は新港陳情運動委員として目下同東上中なるが、四元氏は本運動に對して前後二回京城に出張せるを以て、淸津實業協會よりは氏に對して旅費として二百五十圓を贈呈せる所氏は之れを受くるや否や全額を淸津學校組合へ教育資として寄附せり、運動屋根性の多き地方有志中稀に見る意嚮と云ふべし

プッシゴ

【淸津】淸津に限らず何處でも何如が近來何かと云へば住民から寄附金を募集する事が流行する樣だ▲殊に淸津は新興の開港場として人氣も旺盛だと云ふがから催しある毎に寄附金の勸誘が行はれ夫れが又相當の成績を擧げる所感心の外ない▲最近には小學校の假校舍修繕用として四千圓の寄附が立ちどころに出來上り今度は又築港運動の上京委員旅費として五六千圓も頭株の府民間で形づけた▲此遂は平元線運動の松井平壤商業會議所會頭が運動に來ても何度でも行くが府民の此の心掛が少いと云ふ惡壞に比べると遙かに察ずして居る

孝子節婦表彰式

【春川】春川郡に於ては十一日釋奠大祭日を卜し明倫堂に於て孝子三名節婦一名義僕一名に對して表彰式を行ひ渡邊春川郡守より表彰狀を交付し別に金十圓づゝを贈與したり當日表彰狀を受けたる者左の如し

▲孝子 春川郡南面鉢山里柳心翁同西上面新梅里洪花厚、南山面白揚里金錢龍▲義僕 南山面仁村里石雲光▲節婦 新北面鉢山氏[illegible]

銀行會社
三南銀行新築

全州三南銀行は本町二丁目に六十餘坪工費約二萬圓にて京城名師の手に依つて新築中なるが本月中には落成を告ぐる答にて式は來る十一月頃行はるべく現在の全州支店で[illegible]先づ第一位の銀行と云ふべし(全州)

南方集會

◎知事主催の招待 慶尚南道知事十五日夜官邸に招待[illegible]

◎教育會總會[illegible]

南方人事

[illegible]

地方人事

[illegible]

京染 おさらぎ京屋京染店 京城本町三丁目 電三〇六八番 伊勢見本三 地方は御注文の栞進呈

官公私立病院御用 新藥タキスース錠 糖尿病 說明書無代郵送 東京市淺草區元鳥越町 神風堂藥局 振替東京八八五九番 振替大阪一九八八八番

朱子特品 五圓七十錢 四圓四十錢 三圓九十錢 和洋服・兼用の三種 コート式婦人用 各種共大寸中寸の三種 市內御報持參、市外は見計ひ御送附不向の節は御取替へ又は御返す 見本付カタログ御郵送 京城本町一丁目五一 製作 高野製作所 振替京城四六六〇

廣告 鬼勝長太郎 右ノ者拂者名義ヲ以テ保險契約致候トモ拂者ニ於テ何等關係無之モノニ付此段廣告候也 大正十年八月二十五日 日本火災保險株式會社 仁川代理店 增田定吉

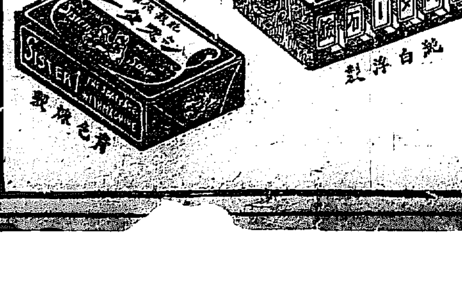
水車唐箕製造販賣 京城南大門通五丁目電話取次一四七 元祖 飯田工場

秋 ワイシヤツ ネクタイ シヤツ 釦類外 洋雜貨 旅行具一式 大平和町 川俣洋品店 電話六九二番 振替京城七六三五番

緩和下劑 ラキサトール 一般便秘症特に常習性便秘症に內服し奏効確實なる理想的下劑なり 本品の最も特長とする點は用量頗る僅少にて奏効し無味無臭なれば婦人小兒も內服容易にして而も副作用を呈せず且つ習慣性を來さざるにあり 全國知名の藥局藥店に販賣す 包裝 (粉末 十五瓦入 廿五瓦入 百瓦入 錠劑 十錠入 五十錠入)(說明書申込次第無代進呈) 發賣元 大阪道修町 株式會社 塩野義商店 東京出張所 日本橋區本銀町三丁目

新學期來る 數多、學生帽の中 學校にも、御家庭にも最も評判高く信用厚き…… 日ノ出向鳥印學生帽子 形狀(慶應形、大正形 ケンブリッチ形)の三種 段値賣販一均 A號 壹個 ¥2.75 B號 同 ¥2.10 C號 同 ¥1.70 但し內地は內地値段に依る 商標 御注意の上お最寄の帽子洋品店にて御要求ありたし 東京 吉安商店

本品は屢々宮內省御買上の榮を蒙れり シスター石鹸 (注意) ▲浮石鹸は皆シスターにあらず ▲シスターには石鹸、包紙共にシスターの文字あり ▲シスターには浮製、練製の二種あり 桑津石鹸製造所



コドモページ

お母様へ

新たに實施された少年保護法

不良性を帶びた少年を何う薫陶するかの質疑に答へて

少年保護法といふのは、國家が少年を保護する爲めに設ける制度を指していふのであります。少年裁判や感化院、矯正院などを設けて社會に害毒を流しつゝある所謂不良少年を保護教養して、再び惡事を繰返さない樣に善導することであります。統計に依りますと不良少年の數は年々增加するにも拘らず、今日ではこれ等の少年を保護教養して眞人間となさしめる施設が完全に社會に備はつてゐないのであります。感化院はありますが收容者の四分の一は常に逃走して依然として社會に害毒を流してゐます。そこで國家はこれ等不良少年の聯絡を根本的に破壞して彼等の跳扈する餘地をなくすると一緒に、それ等不良性に陷るものゝ、ある少年を保護して眞人間の生活に引き戻さうとするのであります

舊刑法實施の時代では不良少年は犯罪の都度、刑事處分を受け、社會と隔離する方法を採用した爲に、社會は非常に綺麗でした。しかし新刑法は少年の將來を考へてなるたけ彼等を處罰することを避けて餘程惡い場合でない限りは起訴猶豫の下に、社會に釋放さるのですから、彼等は徒黨に乘つて翼を擴げて遂に今日の樣な有樣になつたのです、少年保護制度が實施されてからこれ等少年に對し改善の方法を採ることは、犯罪防遏する刑事政策の見地からしても社會共存の缺陷を豫防する社會政策の上からしても、乃至は一人でも不良少年を薫育して一個の順良なる國民たらしめ、幸福なる一生を送らせて人生の目的を遂げしめうといふ人道的見地からしても必要缺くことの出來ないものです

保護すべき少年の或種のものは國家はそれを家庭より引離して他の家庭に託しその家庭の一員として保護教養させます。勿論これには國家から相當の費用を支出してゐるのですつまり感化院に置くと同じ樣に個人の家庭に賴んでその少年を保護して貰ふのです この種の少年は不良性も極めて輕微なものでありますから常に相當の監督をして、我が子同樣に保護して行けば或點まで必ず本人の心機を一轉させ、改善の實を擧げることが出來ます、そして一方では家業を見習はせて職業の出來る人間となしてゆくので例へば商家の見習ひ、職人であつた場合には徒弟として大工左官の業を見習はその家庭の爲にも少年の爲めにも一擧兩得の方法となります只此處に注意しなければならないことは、此等は親の手を放れた國家の少年であるから委託を受けたものは國家の一員として此の憐むべき少年の前途に幸福と光明とを與へることであります只だ厄介扱ひをしたり冷淡に取扱ふことは絕對に慎まねばなりませんさうでないと折角のことが却て惡傾向に走るやうなことになります

寺院も亦少年委託に對して適當な場所であると思ひます、現に京城では淨土宗、[illegible]先生は觀水洞で之が前提となるべき特殊貧困兒童の特殊教育をされてゐます在來社會的に活動することの少かつた寺院が之の方面に著るしく目醒て來たのは今後幾年ならずして當然起らねばならぬこの不良性を帶びた兒童の教養を如何にするかと言ふ問題に到達した場合非常に好いことだと思ひます、この意味から今後少年の感化救濟に就ては宗旨の如何を問はず各宗旨の方も相俱に努力携帶して御盡力あらんことを冀望する次第であります、そして之の事業などは尤も寺院なり教會なりの事業として一番好い問題ではないかと思ひます

[illegible]

コドモの作文

私のうちの犬

龍山小學校三年 野中 君代

私のうちには犬が二ひきゐます一ぴきはおや犬で一ぴきは小さい犬です大きい犬はごはんを小さい犬はたべませんけれども小さい犬は大きい犬よりもたくさんたべます大きい犬と小さい犬はまいにちうちのにはでしやれてあそびますけんかの時は大きい犬がころびますと小さい犬がかみまはりますけんかのしまいには小さい犬がなき出ます大きい犬があそびにゆくと小さい犬もあそびにゆきます私かあからやんをおんぶしてあそびにゆくといつも大きい犬がついてきますかへつて見ますと小さい犬はもうこうにかへつてゐますまいばん二ひきとも犬ごやにはいつてねます私はけだものはきらいです。

アヤメ

日出校二年生 武田 民子

あさはやく小さなちよんぐあが大きなこゑであやめくこうりにきましたからおかあさんがでて見ますとそれはくかわいらしいあやめをもつてゐましたおかあさんはさつそくそれをかいました。そうしてうへきばちへうゑました。私はあやめはだいすきですから、まひ日がつこうからかへるとあやめを見てゐます。私もおかあさんもあやめがだいすきです。

はへ

日出校三年生 村越 若栄

はへは大そうきたない虫です。私が見て居ますと、はへは二ひきでにらみやいこをして居りました。それから一ぴきのはへは一ひきのはへに、おんぶされてにけて行きました、それからはなれぐになつてしまひました

私の學校

日出校二年生 三宅 三子

私の學校は日の出町にたつてゐます正門は西の方にありますそのほかに通門が南の方に二つと東の方に一つあります。正門をはいりましてけんかんをまつすぐにつきぬけますと中にはがあつてそのむかうにこうどうがあります。けんかんの左がはにはおうせつしつがあります。そのとなりにけういんしつがありますこのほかに一年生から六年生までの男の子と女の子のけうしつがにかいと下に二十二しありますまた道をへだてゝ南のにひろいくうんどうじやうがあります千三百人の生とが毎日ねつしんにべんきやうしてゐます。

朝鮮の學童は感情方面が多少早熟の傾あり

近視が多くなつたのも一つで其の因に就て

昨今國民の體育運動は全國に亘つて呼ばれてゐる問題で殊に小學兒童に於ては一入其の聲は高く學校側に於ても此の體育に就ては少からず苦心されてゐる處であるが

最近府內小學兒童の

體育調査の結果をみると時代と環境の關係上其處へ又面白い傾向が見らる・即ち小學校片岡技師は語つて特別からして男女兒童には全く正反對の發育狀態を示すもので男兒は初め普通發育狀態から漸次身長の方へ傾き、女兒は此の反對に最初身長に發達し漸次

重量の方へ向ふ傾き

がある、之等は一般常態でもあるが、殊に當地では新開地の風を受けてか女兒は感情方面からして多少早熟を意味するものだらう其の現象が殊に著しい、尚又眼病の殆ど代表であつたトラホームが漸次減じて其に代つて近視が多くなつたのも一つで其の裏面には時の勢ひである子供の讀書力の激增を證するもので活字の小さいのと眼病の氣勢は充分窺はれる、又齒牙に於ては著しく齒牙加減のとが云ふ統計上側四割位のものである之なども確かに其の因に就ては子供の家庭生活に於て糖、砂糖分の過多を示すものであるそれに從來に鍾頭腺炎、咽喉の病が多く其の他脊柱病の前屈など相ついで新しい病の傾きを見せてゐる。

童謠

子供の花環

ロバート、ルイ、スティブンソン

雨

雨は方々で
降つてる
野邊にも木にも
降つてる
海の舟にも
降つてる
私の傘にも
降つてる

子供の務

子供はいつでも
誠を語り
話し出さなき
やならない樣に
御飯の時には
お行儀よくし
まア出來るだけ
かうするものよ

起きる時

黃色い嘴の
小鳥めが
窓のところへ
ちよいと止まり
円にかを立て
言ふようは
『寢坊見られて
たかね』

新童謠 王子の涙

篠崎潮二

百千の笛や太鼓を一時に鳴らすやうな大嵐のあつた翌朝のことでした。都から餘程離れた山の奧に一本の美しい山桃がありましたが丁度明るい太陽が山の頂きにさし昇る頃一人の美しい少女が山桃の下に佇むで、昨晩の劇しい雨に打たれ風に揉けれて散るを早められた紅い花片を拾ひつゝ切りに花の不幸を嘆いてゐました少女は近年この山に入込み探るの獵師にして鶴姫と云ふ老人の娘で鶴姫といふそれは心の溫な優しい人でありました。『まあ可愛想に』風に吹かれて今にも身を悶へるやうな山桃の落れを見ます鶴姫の清らかな瞳には白露の淚が浮ぶのでした。そして勞はる樣に手に拾ひ集めた花片に接吻した鶴姫の唇は花の猩々緋が染つたかのやうに鮮やかな紅でありました遠くの林に小鳥の囀りが微に聞へます『心からお前に泣いて上ませふね、悲しみはきつとまた大きな喜びを敵へて與へれます。それ／＼あの赤い日輪を御覽なさい。日輪は必ず喜びの日をもつてゐます』鶴姫は靜かに山桃の花を慰めて居ますと急に物騷がしい音がして一匹の白鹿の子がヒラリと溪川を越へると姬の前に來て四足を揃へると悲しさうに鳴きました鶴姬は慌てて白鹿の子の姿を見ますと愁きました白い大理石の樣な前足には牡丹の花が咲いたやうに赤い血が滲むでゐます『お前はあんまり惡戲をするからよ』姬はかう叱りながら懷中の紅の縮緬を取り出すとその傷口を結むでやりましたするとまあ金鑽がホロ／＼と鶴姫の掌に轉び出ました『ほんとうにお前はよく逃て來ましたのね。まあ何處の獵師がお前を殺そうとしたのだらう』姬は逃惑ひ眺めた時に彼方の林の中から若い武士が弓矢を驅して驅けて來るのを見ました白鹿の子は姬に身をすり寄せて救ひの哀願を洩しました。

二、

若い武士は白鹿の行衛を失つて困つた樣に崖の下を眺めて胸を突かれたやうに驚きました。都の人が魔の山と恐れて居る此山に若い娘が寢て居るからでした。鶴姬は山桃の下にスヤ／＼と眠つて居ます何事も知らないやうに花はチラ／＼と姫の腰に散りかゝります『何と言ふ綺麗な娘だ口の中に含むでも居たい玉のやうな娘だ』若い武士はこんな事を思ひましたがヒラリと崖を飛び降ますとツカ／＼と寢て居る鶴姬に近づきました武士は武勇の勝れた此國の瑠璃王子でありました『オイ娘さん』王子から呼ばれると鶴姬は眩さうに眼を開けました『娘さん今こゝに白鹿の子は逃て來なかつたか』王子の鐙の鈴はリン／＼と鳴りました『さつき黃鳥が鳴いて居たばかりですの』『娘さんは寢て居たのだな』『妾は寢て居ましたのよ』瑠璃王子は苛々して居ました『娘さん、寢て居るお前の耳元を何か疾風の如く走り過ぎた物は無いかね』正直な鶴姬は王子から强く白鹿の子を尋ねられると大變に困つてしまひました。鹿の子は姫の袂の中に隱れてあつたのです、如何しても此可愛想な鹿を亂暴な王子の手から救ひ出さねばならないと決心しました『オ・俺の武運も終りぢやあ、弓を打碎いて酒造りの老婆の爺にでも入れやうか何處かの鉋は甘い香を奕いて待つてるのぢや、俺は百步離れて柳枝の小環を打碎いた者ぢやあ』王子は白鹿の行衛が判らないので火のやうに怒つてゐます『けれどなあーにも知らないのですもの』と姫は暗い心で頂垂れました。

三

『アッハッハッ』悲しむでゐた王子は急に笑ひ出しました『娘さんよ。無邪氣なお前の偽りはもう見拔いた。怒るにも怒れない』鶴姬は身を震ひしました、怪しき光りを持つ王子の眼は早くも鶴姬の袂に潜むでゐる白鹿の子を見付けたのです『娘さん。早く白鹿を俺にお渡しなさい、さもなければ此の笛の音が林から臣達を呼ぶよ。胸にかけてある、きつとお前を溪川に突き落すだらふ』親鳥が嚴の下に雛鳥を勞はるやうに鶴姬は白鹿を抱きしめました。『ほら笛は唇まで來た』王子は腰の劍を抜き放ちました、陽にキラ／＼と劍は輝きました『王子樣』鶴姬は腕一杯の聲で叫びました『王子樣、貴方は此の國のあらゆる物を支配されて居られます。けれども王子樣には唯一つ生き者の生命を奪ふ力は許されては居りませんね。神樣は花にも小鳥にも獸にも又だ人間にも總てに同樣な生きる力を與へてゐます王子樣貴方の無慈悲は此の鹿の生命を奪ふ事が出來ますけれど貴方の淚はきつとこの鹿の生命は救つて下さるでせう』姬は一生懸命でした『いけない／＼』王子はツカ／＼と姬の傍に來まして踏み鳴らして『イーエ、白鹿を殺すと言ふ事は其は珍しい獲物ですが』『王子樣其は恐るべき罪なのです』姫は自分の身に變へても白鹿の子を守ると誓ひました『お前に掠り傷一つも負はせたくは無い』王子は鶴姬の肩を力強く握りました白鹿の子は天を仰いでは悲しそふに鳴いてゐました。

四

姬の眞心の抵抗は遂に金の環よりも强く白鹿を救いました『まあ此の鹿を救けて下さるのですか』姬の眼には喜びの淚がポタ／＼と流れました『俺は今まで百人が願つても百人ながらその願ひを許した事は無い、けれど御前の言ふ事を聞いてゐると何だか心が悲しくて涙が流れるやうだ』王子はかう言ひながら笛を吹くと八方から八人の臣達が來ました臣達は王子の前に跪いて居る鹿の子を見ると手を叩いて勇み讚めそやしました その臣達は王子その臣達の貌を見ると急に恐ろしい顏で叱りました『弓矢に心を奪められた獲物は何になる、俺はこの鹿の生命の尊さを知つた。此の鹿は俺の獲物では無い、唯だ一滴の淚で此の鹿を捕へたのぢや、俺のやうに矢を持つこともせずとも永遠にこの鹿は姬の獲物になつたのだ』瑠璃王子が斯ふ言つて臣達に說すと鶴姬と共に白鹿の子を林の奧へ逃けしてやりましたが瑠璃王子の淚も鶴姬を得て都に還り二人は平安に此の國を治めたそふです(終り)

秋風に落ちて行く

大

[illegible]であるが十五日、[illegible]代理店の入[illegible]の金を得て止命の已むなきに至つたのである將軍が嘗てベルフ[illegible]ルデコフに落延び當地でメルグ[illegible]もなく其上部下にカッペリー軍[illegible]に內通する者續出し又住民の[illegible]

承

認して七將軍に屬する[illegible]軍隊の全部を西伯利亞[illegible]

五

萬圓を與へ日本軍も從[illegible]來の行きがゝり若干[illegible]同將軍の再起は恐らく困難のことであらうと[illegible]直左側に居る草原である。[illegible]律より通路は隨便[illegible]

宗教教育の必要に付きて

京管丁長 川江 秀雄

物の靈長といはれて居る人間には種々尊い天性が與へられて居ります。バトラー博士は之を學術的、文學的、美術的、社會的、及宗教的の五に分ち而して教育の目的は此等各方面の天性を圓滿に發達させるのであると申して居ります。人間に宗教的天性があると云ふ證據は如何なる野蠻人でも神を祭り之を信じて居ります勿論其神なるものには種々の種類があつて偶像を祭るものもあれば英雄豪傑を祀るものもあり又蛇蠍獸畜を信ずるものもあると云ふ樣な色々の階級がありますけれども何れの種族にても信仰するものがあると云ふ一事が即ち人間に宗教的天性のあると云ふ證據であります而して人間が他の動物より優れる所以は此宗教心がある爲めであります然るを宗教などは老人の生業、安心立命の方便位に思つて子供や青壯年者の關るべきものでないと考ふ人もありますが此は大なる心得違いと云はねばなりません、先づ早速した處宗教心の篤い人と淺い人との末までが大層な相違があります、語に三つ兒の魂百までと云ふ事がありますが兒童の時から眞の神樣即ち宇宙萬物の眞宰なる愛と義との神樣を信仰する心を養はれることは其兒童の一生の幸福に御座います、かゝる神を信ずる兒童は如何に陰惡なる社會に出て惡に染まず、正直で熱心で長上を敬ひ目下に同情が深く陰日向や不人情の仕打が出來なくなり正を愛し恐れず利を以て誘はれず誠に敬すべき立派なる人格の人となるのであります。茲に於てか始めて完全に教育されたものと云ひ得るのです。今や我邦の教育では智識技能の方面は十分に教へられますが、宗教々育は絶無であります勿論如何なる學校でも修身科はありますが然し道德を願つて理解させる丈けで之を實行しやうとする心を養ひません、道德はよく承知して居ても之を行するに當つては宗教心が必要です即ち神を信じ之を畏れ之を愛する心が其の根本にならないならば其の道德の實行は無理であります、立派な教育を受けた人や政府の要路に立つた人々が彼の阿片事件や瓦斯問題の如き罪惡を犯すものあるは誘惑に打勝つ德上の觀念がないのである昔楊震は賄賂を拒絕した處が暗夜であるから誰も知る人なしと云ふのを『天知る地知る子知る我知る何ぞ知る無しと云ふや』と云ふたそうであるが誠に天の神を畏れる明かなる念が宿つて居るのでかゝる賄賂も決して誘惑に陷る事はないのである山田が[illegible]したるに世人は彼が大學を優等で卒業した人であるながら何故に斯かる爲したかと怪しんだのである、ちかよく之を考ふれば更に怪しむ事はないのである教育は十分に受けて居たから不德なる事は知つて居たら宗教心が薄弱だから誘惑に打勝てなかつたのである、宗教心の養成は一に宗教々育によるべきものであつて此點に於ては日本の教育は缺けて居ると思ふのである。歐米の文明諸國にては方法の相違はありますが何れも宗教々育を施さない國はありません教育の目的が前述の如く人間の天性を各圓滿に發達せしむるにありとしますれば我國の國民教育に缺けて居る宗教々育を何等かの方法で授ける必要があります、そこで非學校教育では何れも日曜學校を設けて宗教々育を授け以て目下の缺陷を補はんとしてゐるのであります。

日本基督教會協力宣教使 ウヰリヤム、シ、ケール

(京城 貞洞七五)

基督教を研究せられんとする御方のため京城傳道文庫あり、其圖書目錄は御申込次第無料で差上げます又教會無用在地の信徒の爲め禮拜用の冊子もあります

演藝案内

喜樂館 本町一丁目 電話九七番 ○九月十六日より三大映畫上場
日活京都派 秋鹿一代記
日活京都派 勇士一步 荒木又右衛門 尾上部製作品 全七卷
荒木又右衛門が鍵屋の辻に於て、剣術天下の大活劇
米國 ○パテー特作最新連續 大冒險大活劇 第二回目 第二の眼 全三十一卷の內 四卷上場
第三編 破滅の路 第四編 黑き鞄
新派 日活東京派第二部 藤野衣笠出演 悲劇 女夫星 全五卷

浪花館 明治町 電話六〇番
八月十八日より開館 大阪女義太夫 豊竹本仲次 合同大一座
竹本綱太夫(?) 御殿の段 ... 入船
一、鏡山 ... 段
一、玉藻前 三段目 道春館の段
一、阿波鳴門 十段目 ... の段
一、太功記 十段目 尼ケ崎の段
一、朝顔日記 宿屋の段
一、義經千本櫻 すしやの段

初日 滿員 御禮
東宮殿下 京都御行啓實況 右本日より差加へ 謹寫仕候
大正館

大正館 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 井町 電話八七三 ○九月十六日より新寫眞提供
日活東京派撮影所大作映畫 悲劇 暮れ行く海 全五卷
▲喜劇 ...
▲牧畜 男性美 全五卷
▲俠客劇 佐原喜三郎 全五卷

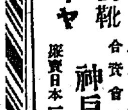
急告 九月十一日(第一報)
東宮殿下 御入洛の御實況 謹寫十七日晝間より
日活直營 喜樂館 電話九九七番

黃金館 黃金町 電話一二六七 ○毎週金曜日寫眞替○料金普通
慶安太平記
クロンダイクのカルメン

浪花座 本町一丁目 電話二三八番
尾上菊十郎
河內家 實川延十郎
京城劇場 本町 電話九七八番
新派 活動大寫眞
乃木將軍傳
京龍館 電話二一番
電のパール 第十一篇
女一代 全四卷
經穴御殿 全五卷

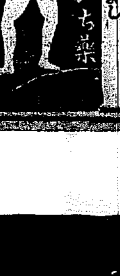
移轉廣告
今般左記ノ處ニ移轉仕候間不相變御引立ノ程奉願上候也
元明治町取引所隣 移轉先キ永樂町二丁目一番地
改稱 北澤材木店
北澤金藏

アルミニユーム製の鍋と釜
定價表送呈
かろくて體裁よろしく普通鐵釜半分の燃料で立派な御飯が出來ます
京城太平通 京城日報代理部 電話六〇九番 振替京城三〇〇番



賣出以來非常の好評を得ましたので第二回の賣出し致します
ゴム靴 タイヤ 神戸市元町六丁目 合資會社 神戸屋ゴム商店 電話長元町一六九〇番 振替大阪二四〇七四番 販賣日本一

被服 拂下諸品全部 荷揃
京城北米倉町四五號 野口龜次 村上商店



淋病消渇 効能的確 梅毒下し
りん病しよかち藥 全身はい毒早下し
ラミノール き・め早きりん病藥 うみもちいたみもすぐとまる いつに惡性頑固の症も特製五日分をすぐ試よ早く治りて氣およし
製藥本舖 臨牀大藥院 特約店希望者は申込あれ

京城一 萩の名所
今や當園內の萩は眞盛り猶ほ栗も當亭一流の皆樣御待兼ねの栗御飯も御注文に應じます御家族御同伴是非一度御立寄の程を願ひます
京城東四軒町 奬忠壇傍 甘泉亭 電話一九八六番

往診 自午前八時至午後十二時 宅診 (午後二時以後) 花柳病は特に夜間診察
仁川仲町一丁目(仁川倶樂部隣) 壬生醫院 入院隨意 電話六一六番
痳疾、血液、嗅尿其他細菌的檢査診斷の需に應ず

株式名義書換停止公告
來ル十月一日ヨリ第拾九回定時株主總會終了當日迄當會社株式名義書換ヲ停止ス
右定款第十八條ニ據リ公告候也
大正十一年九月
朝鮮郵船株式會社

目下大流行の美くしい ◎セルロイド玩具

五百個拾圓
杉浦商店

セミヨノフ將軍 セミヨノフ將軍は十四日夜原山丸にて浦鹽川?十六日星期?教授に到着更に上海方面に亡命の機を求めて落延びる爲…（以下判讀困難）

政　軍の條件を容れず…將軍…一方にメルグロフ政府も…

所得額漏洩問題と輿論

發表された書類は正確ならざる未定稿

漏洩したる所得額表は甲乙轉倒丙丁逆轉の錯誤あり　一般府民の蒙れる迷惑

辯護士 朝倉外茂鐵氏談

市民の休戚にかゝる秘密事項を漏せしむるなど誠に怪しからぬ振舞をしたものである、然も不德背德位で忍び得る問題なら兎も角、苟くも

個人 の信用を搖かし民生活の安定を脅威さるゝに至つては斷じて不問に附すべき輕々なる問題ではない、況んや猶未議を經ず所謂未定稿の所得額なるに於ておやだ從つて一般市民の蒙る迷惑は未だ正鵠を得ざる未定稿なるだけそれ丈け大なるものあるを感ぜずには居れない官吏其他の俸給生活者は今更之を

暴露 せられずとも既に所得は何人も知り易き所である然るに一般商家若くは吾々辯護士仲間の所得に至つては單に外見を以て其多寡を測り得べきに非ず、茲に於て幾多の誤算を來し現に漏せる所得額にして甲乙轉倒丙丁逆轉的の誤れるものあるを其儘さらけ出された者絶無と云はれず、此際一萬圓の所得あれ自ら相當の

威信 を保てる者にして誤つて五千圓の所得者なりと公表されたる場合は如何折角築き上げた信用の礎も忽ち失落するの悲慘事を來さずと限らず、此れ市民の昂奮し激怒せる所以であつて假令ならざるを知るべきである、若し本事件の漏洩者府當路者の内にありとしたら、一刻も其儘に

放棄 すべきにあらず宜しく嚴罰に處するの當然であるが、萬一協議員中に之れありとしたら如何、之迄もなく府制第十四條の定むる所によつて速かに總督の認可を受け道知事之を解任するの最も至當なる處置たるを失はないが聞く所によれば協議員中の一部者は何を病らつてか本問題を揉み消し闇ふ所の

穩當 なる態度を以て之を不問に附し去らんとする者ありと云ふは實に民を蹂躙するの甚だしきものである民は之等の骨抜け議員の爲に斷じて欺網されてはならない、市民の安寧を計る爲個人の生活を脅かすべき府の不良中[illegible]を慮るべき首府の[illegible]かりそめにも市民の安定に[illegible]

秘密書類の出所に就て 本會議で意見交換 問題の火の手揚がる

所得額漏洩問題は愈 其の火の手を高めるに至つた白か黒か未だ出所の判明を見ないが市民の激怒は既に白熱の域を極め

就中 一部の實業家連の爲めに被れる有形無形の多大なる損失を如何せん、と敦圍き揭載新聞に對して損害賠償を訴訟せんなど斷然結束を固めて慨起する、一方には議員が府當路者か何れにせよ斯の如き背德漢を出すに於てはあんじて眠りに就くこと能はず

如何 なる手段を以てしても之が出所を探り突き留むべきは苟くも吾人の義務なりてふ自覺の下に府尹以下

八方 調査を試みつゝあるも此亦今以て判明せず、醜つて府協議員側に於ても一部の硬骨漢結束を固めありても正式に活動を開始する模樣なるもの如く殊に十七日の本會議に於ては右に關し相互の意見を交換する由

府は責任上 警察當局に委ねん 府廳では此方ではない 議員側も此方は知らぬ

協議員側から之を云はしむれば『何うも京城府當路者中にあるらしい』と云ひ京城府當路者の側に云はしむれば『當方ではないらしい』と辯明する、斯て本事件の

漏洩 出所は今や迷宮に入らんとしつゝあるが事實新聞社に於て之れを發表しさへすれば造もなく判明する譯であつて然も同社に於て約諾を重んじ飽迄之を包むとなれば愈に明白となるの困難は勿論である、そこで

京城 府當路者にありては愈々其出所を究むる事不可能ならば同府は責任上之を其筋に訴へ警察官憲の手を煩はして其探査を試みる目論見なりと云へば豫想外速かに根據を突き止めるに至るならんと云はれてゐる

所得額表の分布表

昨報四十六部の所得額表に漏し更に本社の精査した同表の頒布狀況は左の如くである

總數　四十六部

内　八部　府第二課へ

此内譯　長尾課長へ一部　鶴見主任へ七部

内　三十八部　府第一課へ

此内譯　府協議員へ三十一部　吉松府尹へ一部　澤村課長へ一部　大河内書記へ一部　高島書記へ四部

怪しい投書 その出所は 日日でない

十七日本紙第五面に揭載せる怪しい投書の出所と題する某有力者の談話記事中『同文を投じた者は…』と

秘密漏洩問題に關し 市民大會を開催せん 來る廿一日頃京城公會堂

所得額漏洩問題の出所は何所にあるか、それは遠からずして判明すべき機運に近づきつゝあるが斯の如き公文書の秘密を暴露するに於ては安んじて府當路者を信頼し難きは勿論市民の選良たる協議員の威信も遂に地に墜つることなきを保せず醜つて市民生活の安寧は何を以て保つべきを知らざる狀態に至れるを以て府內一部有力者の間には來る二十一日頃京城公會堂に於て市民大會を開催し堂々の輿論を喚起すると共に之等不良分子の驅除に努力すべく目下夫々準備中なりと云ふ

朝鮮 新聞社は稍大袈裟の記者は特に名前と勤務先を匿すが市內某々社に籍ある者に開柄にある新聞社から京城日々新聞社員の仕業かの如く傳へらる…ありて同社は大いに迷惑を感じ、直に事實の有無を調査したるも右樣のことは全く無き事の判明せるのみならず其

執筆 者も既に突き止め居る由を以て特に本社に懸け合せあり茲に於て本社は更に記者を派し某有力者を訪問せしめて之を質したるに某氏は言ふ

余は余が信用するに足ると思ふひ居る人より聞きたる事を其儘語りたる次第なるが之が爲め迷惑を引起したるは甚だに堪へざるのみならず既に執筆者の

氣の 氏名も突き止めありとの事なれば余の聞きたる所は余の豫期に反して事實相違なること疑ひなし就ては余は前言を取消すべしと

行に就き我が社も該記事の不正確なりしを認むるを以て同紙の迷惑を慮かり特に之れを訂正する

街頭情話 死を待つ女 賣るに物なく食ふに食なき 二十年間運命に虐まれた女

十五日午後二時頃本町警察署に保護願を申出た女があつた彼女は汚れ切つた浴衣にヨレヨレの古びた帯を結んでゐたが人生の辛苦と重い病に憔悴した姿は見るも氣の毒であつた。枯木のやうに痩せた身體には二十歳といふ若者の血潮は涸れ切つて居た。が額から頰に流れる強い張りの好い眼より思ふに彼女は病氣以前には十人並以上の容色の所有者とは充分に察せられる。『私は緒方トモヱと云ふ三十五年四月生れであります』と途切れ途切れに言ふ聲もホロホロと泣くが如く疲れ切つた身は泣くにも泣かれないのであつた。

○トモヱは現在では乘るの身を黃金町一丁目旅人宿韓海子方の狹い溫突に横たへて。持物の一つ一つを賣り放つては其日の糊口を凌いで居る、けれど此頃ではもう賣るに物もなく食ふに一粒の米すらなく徒らに死を待つばかりであつた、トモヱは北海道古平郡の生れだが幼少の頃釜山に渡り三谷嘉代との養女になつたが不幸なる彼女は間もなく養父母の離婚と共に養母に伴はれて渡鮮したが養母は間もなく彼女を捨ててしまつた。

○養母に別れたトモヱは其日から途方に暮れたが世の誘惑は一氣に世間知らない彼女を淪落の淵に引込んだ。そして各所を轉々として浮草の如く漂浪したが本年四月頃明治町二丁目岩見屋に前借三百五十圓で抱へられたが然し漂浪に疲れた彼女の身體は恐ろしい病魔に呪はれた。六月下旬頃から患ひだした病は總督府醫院の治療も何の甲斐もなく遂に八月の中旬稼業不能として岩見屋より解雇されてしまつた。

○『お前は可哀想だな』係り官は獨言のやうに言ふとトモヱは唇を噛んで泣いた。トモヱはすでに生れながらにして不幸であつた幼きより冷かい人の手に別れまた養母に捨てられて世の虐使は遂に美しく咲くべき此の花を雜草の如くに寄るなきものであつた。夕陽を浴びて警察の門を出でトボトボと黃金町の鮮人宿に歩み行く彼女は今にも絶え入らむばかりであつた。颯々と吹く秋風は街路の砂塵を捲いてトモヱの汚れた白い浴衣の裾を翻かせて居た。警察では彼女を施療病院に入院せしむべく力をして居た

その儘讓渡さぬ 故嚴妃殿下から蚫の殿杜承氏に讓渡しの土地 信用請託を受け

府內三角町殿斗永代田福辯護士は昌信洞趙東澤を相手取つて土地所有權移轉及び登記引渡請求訴訟を京城地方法院民事部に提出し目下富永裁判長係審理中であるが此の

訴額 十五萬圓で然も故嚴妃殿下御所有地が係爭物件となつてゐるだけ法曹界の注意を惹いてゐる係爭地は元乘澤所有であつて明治卅七年黃海道信川郡北部面に於ける係爭地は故嚴妃殿下が之を三萬圓で御買上げ遊ばされ私有財産として數年間直接管理されてゐたが何ろ相手が宮家の事とて小作人等は意手勝手多く每年收穫も減じたが殿下も持て余して後の所有者である

小作料 取立て並びに土地管理を委託す乘澤に…ら事となつた處で乘澤は其事が心配なくさうと之を受けるに就ては不肖小作人の大任を全ふするには不肖所有者と申されば小作人に於て種々なる手段を構じ收穫を捺へらさうとも申上げたが殿下からは是非とも宜しく取計ひよとの御言葉があつて茲に所謂信託讓渡契約が締結されて土地所有權に關する一切の書類を交付された

表面に は立派に乘澤が所有者となつて年々の秋の收穫は幾分の費用を控除した他は全部乘澤から殿下にお納めして來たが越ねて明治四十四年殿下には蚫の

杜承 氏に該地所を御下げ渡しに當つては乘澤に御一任遊ばされた該土地を引渡す際にこの信託讓渡契約が解除されて正式に返還申上げる意味に於て杜承氏に移轉登記といふ段取となつたが其の最中殿下は薨去された爲め其の手續をせぬ間に今更移轉登記の必要は無いと頑張つてゐる、斗永は

委託 を受け本訴に及ぶた、乘澤は被告乘澤であるが第一回辯論に於て士地は被告乘澤の所有で原告の主張する土地でも認し自分は殿下から拜受した土地で其の證據には該係爭地に關する一切の書類を所持して

莫迦 なる事は無い現に地所は拙者から一萬圓借受けして抵當に供し殿下から大日本を頂戴した實例があると其の證人申請をなし更に殿下からの御下付を提出した結果富永裁判長は該證人喚問を許可し來る廿七日愈々事實の有無取調べとなつた

大本教公判開廷 出口、淺野、吉田の三名取調

【京都電話】 豫審決定以來新聞紙法違反事件並に不敬事件で約二ヶ年間世人の注目を引いた大本教幹部の公判は十六日午前十時四十分京都地方裁判所に於て加藤裁判長係、平井判事陪席田中栗田兩檢事立會にて開廷大本教主出口王仁三郎(五一)同淺野和三郎(四七)幹部吉田祐定(四二)の三被告は何れも黑紋附に羽織袴の姿にて出廷、王仁三郎は長き頭髮を紫の紐にて結び出口は獄中にて延びたる身分等の訊問ありて中西檢事より起訴事實につき陳ぶる所あり次いで出口の審問に入りたるが十二時二十五分傍聽禁止となり傍聽人は殘りおしげに退廷せり

日滿大飛行 準備着々進捗す 統裁官は川田大佐

伊藤少佐外一行も近日來着

所澤長春間大飛行の準備委員として過般來長春、奉天、新義州に於て打合せの要務を了りたる陸軍航空學校教官步兵少佐伊藤茂氏は昨日午前七時奉天より來着と共に飛行場其他關係方面に就き準備委員として同準備委員と共に飛行場附近の調査を爲し次いで軍司令部に赴き諸般の打合せを爲したるが昨夜は七時二十八分龍山驛發列車にて釜山に一泊今朝內地へ向け出發せり。尚釜山に於ては武田大尉新義州には小澤中尉夫々準備委員として要務進行中なる由

內地歸還に際し年來の御厚誼を感謝す

上田駿一郎

同　はる

本社五千號記念活動寫眞

雪崩の如く殺到した觀衆

大盛況裡に終つた巡回活動第一回公開

待ちに待たれた本社五千號記念巡回活動寫眞會は慰安會、鮮巡回活動寫眞會は肥馬秋高の十六日午後二時より京城府龍山新築京龍館で第一回の公開せられた晝間公開は豫定の如く

午後 二時には既に滿員の大盛況を來し午後七時より夜間の慰安會を開つたが練兵町停留所より降車する群衆は京龍館前に殺到して開館するや觀衆は雪崩の如く打寄せて六時半場內既に立錐の餘地なきに到つた午後七時の入場者一千五百名を算せられ同館は能ふ限りを收容したが尚雲集す

讀者 に對しては遺憾に堪へないが場內に蝟集して居た觀衆は館前や窓際にたつたのでも尚觀衆の止むなきに至つたので遂に門を閉して一先づ打切りとし努力した午後正七時本社辻本社員の開會の辭を以てプログラムの順序に映寫を開始せられた

最初 の幕は富士登山の實況 家庭劇は坊ちゃん嬢ちゃん…の喜びを以て終り。京城日報…

奉祝 映畫は本社苦心の結果東宮殿下御歸朝當日京城府內の實況は鮮明に撮影せられ總督府前に集まれる一萬餘の內鮮兒童の旗行列の萬歲に對し齋藤總督以下パーニスーに並んで一々萬歲に應酬せられる所は觀衆の氣分を感激せしめた、千代本の藝妓の美しい踊りを見られ京城附近の風景龍山幼稚園兒の唱歌劇『舌切雀』は觀衆の拍手喝采を

場面 が變る每に『モイちゃん』やちゃんも春ちゃん…永近先生のピアノに連れて雀の爺さん住友の坊ちゃん御婆さん阿部の婆ちゃん雀中崎、永田の雨樣が寫眞と同人物が現れて『舌切雀の御宿は何處か』と可愛らしい聲で唱はれたのには千五百の觀衆を思はずホロりとさせたが中には小さい聲で…『冒險の火夫』は勇敢なる火夫が危險を冐して主人の幼女を救ひ出すと云ふ筋書に列車の大冐險を演じ最後に本社辻本氏の原作內鮮同化劇新派『牛ひき』三巻は

專屬 辯士西野天鄉、田大洲兩氏の熱辯に一時間餘に涉る長編にも拘らず多大の感動を與へた。これにて映畫は一先づ打切りとなつたが尚本社の此催しに

天直 氏が敷寄の鮮やかなる奇術を以て觀衆の喝采を博し武井氏の御伽噺二席は大拍手裡に終り殊に松旭齋天勝一行の應援出演あり路を喜ばせること艷麗な肉體の所有者天路嬢が獨特の妙技に振り大小奇魔術舞踊最終を飾つて當日の慰安會の終りを告げた時には午後十一時三十分其間觀衆は最も肅に秩序立つて居た事は各新聞者の熱誠を應援出演された天勝一行に對して感謝する

今日は公會堂で

巡回日程一部を變更

本社の巡回活動寫眞隊第一日は京龍館にて未曾有の盛況を呈し既に來會者に對し入場を御斷り申上げた者無慮五百名に對しては申上げた故を以て十七日京城公會堂で御覧に入れる事に致しましたので此上最早日程の變更は絶對不可能であります程御通知致します從つて日程は左の通り

十七日　京城公會堂　午後七時より

十八日　同

十九日　同

二十日　黃金館

（晝夜二回）晝間午後二時夜間は午後七時

同寫眞隊の映畫プログラムは

東宮殿下御歸朝當日の實況　一巻

富士登山の實況　三巻

喜劇 貸家の修繕　一巻

京城日報社製作の實況（最長尺）一巻

千代本の藝妓手踊　一巻

京城照會 私立龍山幼稚園兒及唱歌劇舌切雀　一巻

正劇 乙女の眞心　一巻

活劇 冒險の火夫　一巻

教育劇 孝犬の珍藝　一巻

新派同化劇 牛ひき　三巻

以上の映畫時間五時間餘にして場所及時間の關係上多少變更するかも知れません。尚二十日までは特別物として松旭齋天勝一行の大小奇魔術を實演して貰ふ事になつて居るので不耐至便…として讀者優待に最善を盡した積りであります

運動界

全京城再び捷つ

六アルファ對四

全京城對神戶高商野球第二回戰は既定の如く十六日午後四時より龍山グラウンドに於て小坂部球審松浦壘審にて開始さる、第一回戰に敗れた神戶高商は今日は是非勝たなければならぬ京城軍も亦此處で敗れては都の球狂の信望を失つて了はなければならぬ。然し第一回戰に於て見る巧妙は神戶軍に在り、殊に一戰の心意氣は京城軍に優れたものがあつた、神戶高商軍に疲勞がなければ勝味は充分で何れも勝味は京城軍にあつた、四時二十分小坂部球審のプレーボールで神戶高商稻田ボックスに立つ

第一回（兩軍零）

第二回（兩軍零）

第三回（兩軍零）

第四回（兩軍零）

第五回（神高一京城二）

第六回（神高一京城一）

第七回（神高零京城三）

第八回（兩軍零）

第九回（神高二京城A）

…遊撃安打捕逸に二盜無謀に盜み企て刺さる稻田三併失に一盜み佐々木四球に出で※刺され、投手失し稻田生還佐々木三盜三壘逸球に生還後者凡打して終りたる時五：分六アルファ對四にて京城軍の勝利となる。

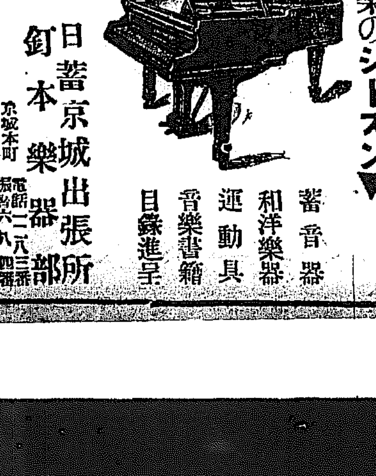
今日の値段（公設市場 賣値段）

品名	單位	値段
マグロ	百匁	一、八〇〇
サワラ	百匁	一、五〇〇
鯛	百匁	一、〇〇〇
干瓢	百匁	四五〇
胡麻油	一合	一五〇
白メ油	一合	一二〇
茶醬	百匁	一二五
葱	百匁	〇二五
昆布		一三〇
干		一四〇
大根	中一本	〇三〇

蒲團の御手配は今 秩父銘仙夜具地 最低相場の格安品 定 廿六七圓より三十四圓位まで 新荷着 京城本町 ちゝぶや

御祭 定紋門幕 廉價調製 いづみ屋染工場 京城仁川花町二丁目 仁川は御一報次第参上 地方は見本定價表進呈

大阪 現金問屋 取扱主要品 伊勢崎 八王子 東京織物 伊豫絣 久留米絣 本場秩父 本場郡内 尾濃織物 戎英子ル 旭染石持 足利織物 館林織物 遠州織物 秋向本絣 捺染セル 紅小富士 青梅夜具地 おめし高等裏地 地紬類 各種 裏寸 九越後 何時も適品破格品是非御來阪之節ハ御立寄り下度候 西健商店 大阪市本町



日蓄京城出張所 釘本樂器部 京城本町 電話二八三番 振替六八四 蓄音器 和洋樂器 運動具 音樂書籍 目錄進呈

▲初秋の御家庭と音樂のシーズン▼

磁氣應用酸素療器の元祖絶對安全 創立十周年記念大損賣壹組正價金卅八圓 登錄商標 オキシパサー 本器は物理療器中の最高權威にして效力の的確なるは既に識者の認むる所也。使用法簡易且つ失費を要せず、一器を購入せば永遠の使用に耐へ家庭の保健上必須器… 東京市麴町區有樂町一丁目三番地 發賣元 大日本オキシパサー商會 電話丸の內一八九八番 振替東京二三八二一番 朝鮮總代理店 龍山驛前 日の本 居森松次郎 京城日報社代理部 取扱店 京城府黃金町一ノ六 松本商店

最上エノグ 鳩居堂の 十二色絞り出シ 一圓 十錢 總用鐵卅色一組 一圓 四十錢 大鉢 十四色入 一圓 五十錢 皿入 二號 八色 五十錢 皿入 三號 六色 二十五錢 以上各種 目錄御報次第呈送 熊谷鳩居堂 京都寺町 振替大阪六三八

寛永御前試合

第九十席　　小金井芦洲講演

彼の小僧ヒヨイと之を見て　小『イヤ御修業者貴所は二本御持になるので』武『如何にも手前は二本持つ』小『へエ此の間家の隱居がさう言ひました、劍術と云ふものは一本でさへなかなか使へんもの、二本持つ者の了簡が分らんけれども此の間中から肥後の熊本加藤主計頭の家來、宮本武藏と云ふ小僧は二本を能く使ふさうだと、是は大層褒めて居りましたが、ぢやアお前さんは其の武藏と云ふ小僧さんか』武『驚いた、小僧はチト恐れ入つた、併し塚原の目から見たら小僧に違ひない、肥後國阿蘇嶽の神職の伜、瀧本又三郎と云ふ者だ』小『ぢやア宮本と云ふ人の御弟子か』武『弟子でもない』小『弟子でなければ二本使ふ譯がない、ヂヤア何でも宜うございます、どうか御願ひ申ます』武『サアお出なさい御遠慮なく』突然小僧が刀を持つて前に進んで見ると頭から足の先まで開け放しだ、劍術の法として何かと圍ふべきが當然、それがまるで透だらけ　小『ア、驚いた、成ほど是は隱居が話をした八方破りと云ふのだな』武藏又驚いた八方破りを見拔かれたか此の小僧なかなか偉い者だと感心をして居ると小僧の方では是は打込んで行つたら乾度十字に受るに違ひない、仕方がないヤッづけろエイッと打込んで行くと一足前に進んだ武藏、左右に下た竹刀でガッチリ受ける、と案の如く　小『アア是は困つたなア』ウンと押すと離かれ受けて後に退る、引かふとすると前に進むからどうしても此の竹刀が引けない、無理に引かふとすればやられるから流石の小僧仕方がない、竹刀で字の中を搔廻しながら　小『困つたなアく人を食つた奴があるものだ』スルと向ふの窓戸が開いた様子ヒヨイと小僧が見ると頤の白を撫でながら窓に片手を掛けて合をじつと見て居る之を見た小僧　小『アア可ないくく隱居が目て居る』と竹刀を投げ出して一散に逃げ出した、武藏も氣が付き、扨ては老人お目覺めになつたか是は可かんと思ふから、自分も同じく立つて内に入り　武『老人何時の間にお目を覺まされたら』う　小『どうも家の隱居位目覺といものはない明日になると小言を言はれるから、どうか御修行者から謝つて下さい』武『乾度お詫を致す』そこで其晩は小僧と枕を列べ眠りに就きましたが餘程氣が合つたと見へます、さうでございませう、後に至つて此と親子の縁を結ぶ事になります、其の晩は勞れもあるしグッスリ眠つて、翌朝老人早く起き頻りに自分で御飯拵へをして居る、武藏目が覺めると小僧はまだ眠つて居る　武『お小僧』小『何です』武『何ですでない、老人がもう御目覺めになつて居る』小『へい何時でも隱居が先へ起き御飯や何かが出來た時分に私が起るので』何方が主人だか譯が分らない、眠がつて居る小僧を武藏が引起してそれから手水を使ひ老人の前に出で　武『お早うございます、昨夜は飛んだ失禮を致しました、何卒御容赦に預りたく』老『是はくく御修行者かくのお騒ぎ、小僧なぞの及ぶ所でない、何卒御許しを願ふ』武藏見ると隱爐裡の上の自在に鍋が掛つて居て、頻りにコトコト煮て居る様子　老『失禮ながら御修行者、今朝は老人が一本御對手を致さう朝飯前に如何でござる』武藏喜んで　武『是は傳先生と思ふから』老『御願ひ申ます』と直に身仕度をして二本の竹刀を持つて其處に出で　武『いざ御願ひ申します』と云ひますると　老『ア、私は失禮だが是にてお對手を致す、透あらば御遠慮なく打込みなさい』と老人は爐の側に座つたなり傍らにありました竹火箸を取つて灰を掻き均して居る、向ふに廻つた武藏一足後に退つて左劍をピタリ中段に取り、右劍を上段に振被つた、是ぞ活突の構へ、萬事入身になつて付けた流石摩利支天尊より授かつたる形兎の毛で突いた程の透もないウンと氣合を掛けて前に進みました時に老人竹火箸を以てちやうと之を見て居りました　老『モウ少々まだいけませんぞ、モウ少し』幾ら武藏だと言つてさう息を吐かずには居られません。

野口齒科醫院（川才町三丁目）

菓子進物用品　各種取揃てあります　京城大和軒

將棋新手合（二）

於大阪市西區阿波座米見七段宅
左香落〔△三段　龜山豐次郎（釜山）　▲二段　岡田賢（釜山）〕

圖は九六歩迄の局面　▲持駒　岡田氏　ナシ

九	八	七	六	五	四	三	二	一
△香	△桂	△銀	△金	—	—	—	△桂	—
—	—	△玉	—	△歩	—	—	—	△飛
—	△歩	△歩	△歩	△歩	△歩	△角	△歩	△歩
△歩	—	—	—	△銀	△歩	△歩	—	—
—	—	—	—	—	—	—	歩	歩
歩	—	歩	—	—	歩	歩	—	—
—	歩	—	歩	歩	銀	—	—	—
—	角	玉	—	—	—	—	飛	—
香	桂	銀	金	—	金	—	桂	香

今手順
△八二玉　▲五六銀　△七二銀　▲五八金　△三二飛（八）　▲一四歩　△同歩　▲同香　△三五歩　▲同歩　△四五歩　▲二四歩　△同歩　▲三三角ナ　△同飛　▲二四飛　△二三歩　▲二八飛　△三五飛　▲二三飛（ナル）
（以下次號）
△（八）三二飛は六四歩と突き敵の機を窺ふ處なり

曆　九月十九日

（舊曆八月十八日）
月曜日▲乙酉▲三碧▲危宿▲建
劒東方▲赤口▲暗

▼三碧▲意に反する事ある日然つても默目新計畫亦面白からず
▼四綠▲順風に帆を揚ぐるが如く諸事至極好都合に進捗する日
▼五黃▲行違ひこなり逢能はざる如き日苦しみ甲斐なかるべし
▼六白▲足許の狂ふ事ある日特に輕卒を戒む大事は翌日廻し吉
▼七赤▲入り代り立代はり損客の來る日急ぐほど大破れを來す
▼八白▲失望の日常業は概ね平調ならんも新事業は見合せて利
▼九紫▲發展の日なるも妄進を戒む起業旅行求職結婚其他皆吉
▼一白▲成功の日意外な吉事に逢ふべく水物商賣の如き殊更妙
▼二黑▲表面は順に見ゆても内實極めて逆境の日小兒衛生注意

胃腸藥タラコン

村井弦齋先生研究の結晶
偉大なる其藥効を見よ

本藥の特性

第一、疲んだ胃腸の筋を引締めて食物の消化に滑る人消化不良の人便祕する人下痢する人何れにも卓効あり
第二、胃液の分泌を整へて酸い水や苦い水やゲップの出る人胃腸の痛む人特に胃擴張胃酸過多に著効あり
第三、タラの猛烈なる刺戟力は胃腸に生じた異性物を攻擊し手術の外療法なき癌腫にさへ驚くべき効果あり
第四、此藥の配伍を變へると色々の病に神効を發揮しタラコン糖尿湯は糖尿病に奇効あり第五特方タラコン湯は不治の難病させらるゝ肺結核の下痢盗汗を治して大に健康を増進し驚嘆すべき成績を現はします

◎藥價（各藥店にあり）
◎胃腸藥煎藥各五十錢、一圓二十錢二圓五十錢、五圓十圓、タラコン糖尿湯胃腸湯第五特方タラコン湯各一圓五十錢、三圓、六圓、十二圓、送料十二錢、海外四十五錢

ぜんそく湯

ぜんそく湯　つはり湯　タラコン精湯
本舗　東京市小石川區下富坂町廿番地　無量壽藥園　（電話小石川二九五六番　振替東京二〇〇二一番）

たん、せき、息切れ！今にも死にさうな重症の喘息で日に幾本となく注射をしても治らぬ人さへ此ぜんそく湯でサツパリとなをり二度とおこらぬので喜んで居る方が澤山あります、効能の確實なることは決して他に比類なく而かも何等の副作用なき天下一品の妙藥專門のお醫者でも此藥を推奨し喘息に苦しむ人は何非御試め下さい◎藥價六十錢一圓五十錢三圓六圓十二圓送料同前

登錄商標

夏季のお衣裳に―

夏季中にお用ひになつたお衣裳は汚点を拔き塵埃を拂ひ快晴の日に能く乾燥し藤澤樟腦を入れてお片附遊ばせば來年も新調同樣なお衣裳をお召しになることが出來ます

◇種類　大形　中形　小形　若形
◇各地藥店、化粧品店にて販賣せり
◇値段下落戰前に大差なし今般非常の好評
◇類似品多し能く商標御注意

發賣元　藤澤友吉商店　大阪　東京　京城

腦病良藥レーベン

レーベンは醫學博士岡田先生を初め醫學諸大家の賞讃を博したる腦病神經衰弱ヒステリー絶好の良劑なり

一度レーベンを試みたる人は永久レーベンを賞用せらる

先づ其一週乃至二週を服ひし人は次に必ず其最も大なるものを求めらる何故か米食人に適合すべき植物性藥にして腦の營養素高貴藥リンサンの多量に含まれせると其品質最優秀にして服用量少くして効驗極めて大なればなり、論より證據腦病患者よ當は急げ今直ぐに思ひ立つた時に買給へ本劑は大黃主劑の下劑にあらず故に服用後腹痛せず

要治効能　腦病、神經衰弱、づゝう、めまひ、のぼせ、便秘、貧血症、不眠症、ヒステリー、記憶減退、陰萎、遺精、早漏、夢精、房事過度、生殖器障害等は皆本病に起因するものなり故に最後の靈藥として當は急げ今直に服用あれ

定價　五十錢（試用分）一圓、二圓、三圓、五圓五十錢の五種あり　全國送料無料

無代進呈　ハガキで申込次第本劑の發見者常持醫學士著腦神經衰弱療法及其他増田博士森學士共著精神療法の二冊直ちに送呈す無遠慮申込あれ

本舗　東京銀座尾張町二二　電話京三〇八番　弘濟藥院　中南定太郎　振替東京三三二番
舗　大阪安土町堺筋　電話本三〇〇七番　弘濟藥院　中南定太郎　振替大阪三四四番

釜山商店案內

洋鐵鋼鐵道船舶土木建築材料其他工業諸器械附屬品商　角野商店　釜山辨天町（電話三三〇　振替京城一二九）

酒精、燒酎　西貢米碎米大豆大麥　砂糖麥粉飼料食料品　釜山埋立新町　福榮商會

洋酒・罐詰　食料品　釜山　あづまや商店　電話三三九番　振替京城三九九番　糖粉・官煙

ワダカルシューム錠

總ての類似品を壓倒し賣行益旺なる…

ワダカルシューム錠は吾人日常生活の源泉たる細胞に必要なる原素にして、而も難治の痼疾、習慣性の病害、常習便秘の如きさへも漸次治癒に就かしむるのみならず、特に結核、流行性感冒等傳染病の治療及び豫防に卓効を奏する事は諸大家の實驗に依りて證明せられ、殊に他人の知る處である
ワダカルシューム錠は又姙婦及授乳婦に必要なる要素であり胎兒の骨質を構成するカルシューム分は悉く之を母體から取る爲め脱毛、齒痛其他非常なる惡影響を被り疾病の因となる事が頗る多い、ワダカルシューム錠は實に是等の危險を防止するのみならず、分娩を輕易ならしめ、嬰兒の發育を助長し又惡阻にも卓効あり

片瀨醫學博士述說明書郵呈

健康增進　結核豫防　姙婦安產　胎兒發育　齒牙保健

醫學博士林禮推奬
醫學博士片瀨淡鑑査

三百錠入一圓四十錢　千錠入四圓二十錢　三千錠入十一圓

發賣元　大阪道修町　和田卯助商店
關東代理店　東京本町　田邊元三郎商店
全國藥店に販賣
日本唯一のカルシューム學者片瀨醫學博士の鑑査を一爆毎に受けつゝあるワダカルシューム錠

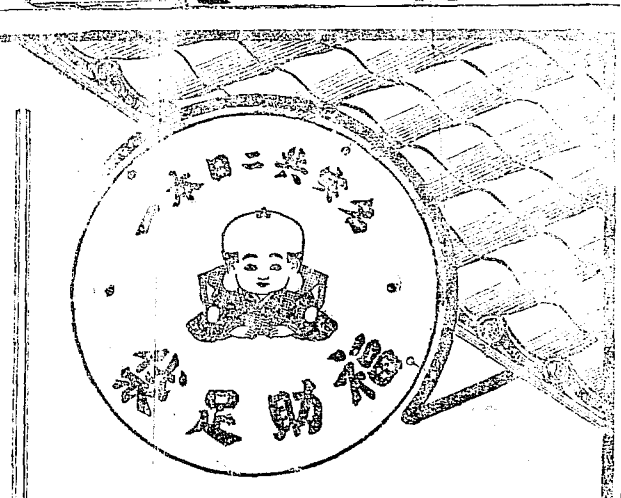
京城府明治町二丁目（本町明治屋横より入）
中島病院　內科　小兒科
院主　中島貞信
入院隨意（普通病室　隔離病室）　電話三七八番

運轉手技手販賣員養成毎月一日十六日開始一ケ月卒業學費合計百卅圓前納就職紹介（何人も成功）
京城府黄金町三
生徒募集　京城自動車學校
學則進呈
姉妹校　東京市京橋區　東京自動車學校　市岡町　大阪自動車學校　福岡市中島町　福岡自動車學校　大阪西區…　京城ニ鮮語教授ス其他ハ大改良施行懇切丁寧ニ教授ス

福助足袋販賣店を全國に募る

名實共に日本一の今評判の福助足袋―販賣御希望の御方は左記へ御申越次第直樣店員參上又は手紙にて詳細お知らせ致します。

福助足袋株式會社
東京市日本橋區小傳馬町　大阪市東區本町三丁目　堺市市の町　京都市四條通富小路　福岡市博多行町



▲赤く光る看板

新しく意匠を凝しました此の琺瑯看板はお店を美しく飾るものとして乾度御滿足を得る事と信じます目下製作中ですが出來次第順次各地販賣店全部に無代頒布致します

才氏と宋氏

探宋小騷氏一行十五名と共に早川社長山縣長官が兩氏等の爲め一同深くその厚意を感銘し好良管問題に就き裡面の進捗如何を受けしこともある故に移管を…の機關を置くは必要なるを認めらず即ち詳細説明をなし過去の…す右場は宮口小學校と…[illegible]

【安東】一時非常に[illegible]の安東縣の木材界は[illegible]支那商人の買ひ進み[illegible]種々の原因あり[illegible]去る七月中旬頃より內地方面の需用は甚だ僅少なりと云ふ相場は銀價の昂騰に伴ひ約二割方騰貴したり滿洲方面の需用は依然旺盛にして支那商人の買ひ進み節後と雖も目覺ましき取引なかるべしと因に天津方面行木材は來る十一月十九日出帆の天潮丸

現取信託

中村再造、齋藤久太郎、梶原末太郎、市川啓、三好和三郎、尹致昊、尹顯泰、金錫準、佐伯直平、（奉天）原田市松、（安東）加藤直輔、（大連）の諸氏發起人となり資本金百萬圓の京城現株取引信託株式會社の設立計畫中にて有價證券の所有並に信託、證券商品擔保貸附及保管荷爲替の代辦、財産の管理及び運用引受、社會的公共事業の基金特別扱及其他各附帶事業を營むを目的とし當初は五百萬圓の豫定なりしも四圍の事情は同社の創立頗る急を要したる爲に取敢ず百萬圓として創立を發表せり從つて株式の分領が一般に行き渡らざる嫌あるは會社當事者も遺憾とする所なるも總株數二萬株中二千株は是非共九月廿日頃迄に公募に附し月末迄に第一回拂込を結了し來月中旬創立總會を終ると共に直に開業し引續き一方に於て資本金四百萬圓の第二信託會社を[illegible]由にて贊成人引受株受附は九月十八日より二十日迄とし發起人持株は平均五百株なり創立事務所は京城明治町一丁目朝鮮商業信託社內に設け發起人に有力者を網羅せるを以て同類會社の續出せる折柄なるも同社の前途に對しては一頭地を拔くものとして一般に有望視され居れり

勸業貸付利下

殖銀にては今回勸業貸出金利の引下をなすべく調査中の處左の如く決定し來る二十五日より實行することゝなりたり

	從來ノ金利	改正金利
普通貸付	一割二分乃至一割一分	一割一分乃至一割
最高金利	一割三分	一割一分
公共團體	八分五厘乃至八分	八分
水利組合	九分三厘	八分五厘

赤米除去

東拓の改良

東拓にては一昨年の大旱害により選種其他に遺漏の點多かりし爲め種籾中にも旱害に對する抵抗力に强弱の差ありて遂に品種の劣變（赤米の出現）夾雜物の增加となり多年の努力を裏切るの結果を見るに至れるを以て本年秋收期に於て選種の際嚴選籾の選を行ひ苗代時代の管理をも一層嚴重にし殊に赤米に就ては極力之が除去に努力せしむる事となれり而して從來赤米が除去上困難とされつゝあるは次の理由に依るものなりと

一、赤米は他の籾類に比し强健にして特に旱害に對する抵抗力强く旱害年度に於ける收穫率中には赤米の混ずること大なりとす

一、赤米は成熟期に於て籾の脫落すること甚だしく耕土中に殘存して翌年度苗代又は本田中にて發芽繁殖すること多し

一、赤米と他の籾との雜種は赤米となる

赤米除去に就ては二日間位浸水すれば籾殼は透明となり赤米たると否とは直に之を鑑別し得るを以て之を除去するに努むべし

資金需用增加

株式季節品動く

京城に於ける株式資金の移動依然繁忙を呈しつゝある外引續き各方面の資金需要が弗々增加し來れり這は金利關係を別とし一般經濟界が漸次立直り仕事に著手するまゝ引合ふべしとの心理狀態になりたるものなるべく一般商業資金の貸出が相不變增加しつゝあるは其の例證なり尙極めて閑散たりし一般雜貨類は時節に順向物の需要を促さしメリヤス類は漸騰傾向を示せり要するに今後各方面の事業著手を待ちて相當資金の需要あるべきは信じて疑はざる所なり

天然 氷倉庫の將來【一】

志岐信太郎氏談

朝鮮天然氷倉庫株式會社は朝鮮天然氷會社の姉妹會社として好人氣を以て迎へられ居るが同社創立委員長志岐信太郎氏の談に曰く天然氷の組織的研究調査及採氷方法を述べんに既設朝鮮天然氷會社は內地及滿洲へ輸移出の目的を以て成立し種々なる困難に遭遇したるもそれ丈け調査研究の必要に迫られ一年間に多大の經驗を得て有利有望なる確信を深くするに至つた僕て天然氷に對し本社は理化學者に調査を託し實地經驗者を以て調査委員會を組織し徹底的に研究を遂げた次第である更に本社は衞生上遺憾なからしめ完全なる氷を產出する爲め分析所を設置し日々氷及水の檢査を行ひ又採氷に就て尤も經驗を有する技師を招聘する爲め北海道函館區役所に依賴し天然氷に經驗ある技師を採用する事にした尙朝鮮內の斯業實地經驗家を網羅し各分擔を定め之か經營の任に當ることゝせり次に本年度倉庫建設及明年度後の方針を概言すれば會社は本年度に於て差當り龍山、漢江右岸に一萬五千噸市の中央黃金町に五千噸を貯藏する方針にて創立委員責任を以て之か倉庫建設に着手せり順次釜山、大邱を始め各漁業地全部に亘り倉庫を建設する方針なり尤も漁業地は總督府の命を待て建設し總督府の方針に順應することに定めた

京城金融

貸出預金增加

京城組合銀行九月十五日現在預金貸出は預金合計六千八百三十一萬[illegible]千圓貸出合計六千八百三十一萬[illegible]千圓にして八月三十一日現在に比較すれば預金三百二十二萬圓貸出二百八萬圓の增加なり預金の增加は特別なる理由なく貸出の增加は米穀綿布資金等の需要增加せるに因るものなり九月十五日現在帳尻を示せば左表の如し

預金の部（千圓）

	九月十五日現在	八月末日現在
定期預金	三五、三四〇	三三、七三
當座預金	三三、六元	三二、六三
特別當座	一二、三五	一二、三元
諸預金	三、〇四	二、八六
合計	六八、三元	六六、〇九

貸出の部（千圓）

	九月十五日現在	八月末日現在
貸付金	三六、三七	三五、三三
當座貸越	三五、四九	四、九
割引手形	三五、三三	三四、三二
荷爲替手形	三、二	二、七
合計	六八、三七	六六、三

銀行貸出種別

京城組合銀行八月末現在擔保附貸出高は口數一萬七千五百九十七個金額六千五百八十五萬二千百十六圓にして其擔保別貸出高は左の如し

種別	口數	貸出金額（千圓）
不動產	一、九五二	一八、四七
有價證券	一、二五九	一〇、二九九
貨物	四二〇	二、四八
信用	一三、九六六	三四、五九二
計	一七、五九七	六五、八五二

增資協調乎

京城證券信託株式會社の增資問題に關する臨時總會招集の件は其後大日氏及び新田氏一派との間に尙協調の餘地あるが如く或は法廷に於て爭議することなき

綿布商大會

朝鮮綿布商聯合會にては既報の如く來る十八日午前十時より京城ホテルに於て第二回總會を開催し鮮內汽車運賃に關する件外十件に付協議すべし

に至るべく此際相當の調定者の出現せば案外圓滿解決を見るなるべき形勢なり

京城天然氷計畫

京城山下顯平、中河原重吉、北野善造、赤萩與三郎、宇野宗一、田中丸治平、守永和三郎の諸氏發起となり今回京城天然氷株式會社の設立計畫中にして既に創立事務大に進捗せるが資本金五十萬圓にして漢江仁川水道水源地附近に於ける天然氷を採取貯藏し京城市中の需要に應じ氷價の調節をなすを以て目的とし從來五萬圓の組合組織なりしものを株式に變更するものにして發起人に京城に於ける氷の大需要者を網羅し氷卸商魚市場當事者料亭等より其需要を一手に引受けると共に氷價を調節し惡疫流行の際など從來噸五圓の氷が一躍五十圓に暴騰するなきは徹底的に防止し京城市民に對し專ら公共的に純良なる氷を廉價に供給するにありと

朝鮮銀行券 十六日現在左の如し
發行高 一〇三、二四六、二六七
正貨準備 五四、〇一四、一七八
保證準備 [illegible]

京城金利 十六日現在
コール 東京 大阪
當日物 九、五
無條件 八、〇
六十日物 一六、〇 一五
鮮銀割引歩合 二四、〇

株式（十七日）

現株市場出來値

京取、仁取、鮮銀、殖銀、韓銀、朝紡、朝郵、大新、東拓、京電、瓦電、朝鐵、中鐵、滿鐵、滿毛、信託等 各銘柄 前場後場寄引 [illegible]

東京現株

十七日前場 十六日後場 [illegible]

大阪株式

十七日前場寄付 十六日後場大引 [illegible]

安東株式

十七日前場 安取先當 寄付 三三五・二〇 大引 三三六・〇〇

前場小綻り

京取は昨後場の軟調に比すれば幾分小綻かりの商狀を呈したが何分にも一般仕手が氣迷ひに陷つて居るだけに商內は極めて不定の貨物切らぬ人氣に止まり陰鬱の氣が漲つて弱きが如く不透明の場面であつた即ち相場は百九十圓九十一錢方の上乘せ九圓より八圓九十錢にダレ

晴兼ぬる商狀

吹値賣時代

京取は川崎買新田賣りの對抗戰に興味を惹きつゝあるものゝ多くの仕手は一齊に氣迷ひて見送りを爲す結果相場は甚だ少くなりて無難の曲線を描くのみにして大なる變動を見ず只小口の抛出しやマバラ商內に晴れず薄れざる所謂不透明な商狀を續けて居るのである[illegible]

大波瀾以来買氣に疲れの生じて居ることは爭へぬ事實

依然として有力筋の鼻息を伺ひ[illegible]

動きの取れぬ餘程の巨資を上げて取らうとするにはなかなか[illegible]反動にさへ吹値々々を賣つてしまへば例令ダレても肩たゞ處には叶はずとも大きな利喰が出來て常に强掛けにする仕掛をたゞ出來て味

第三者の觀察

【北窓氏】[illegible]

奉天株界

奉天株式市場は開始以来極めて順調に進展して今や內外人の人氣は益々良好にして現在の出來高も何れも相當の商ひあり[illegible]

短期日步

銘柄 京取 仁取 大新 滿毛 朝紡 東拓 [illegible]

短期取引

京取 前場 [illegible]

主要株步ミ追設

後場小波紋

後場の京取は短期十圓九十錢と一圓九十錢高に寄つたが吹き値は賣物に押されて九圓四十錢を安値に三十錢を引け今週十圓八十錢に寄り九圓八十錢とダレ來週十圓に寄り二圓三十錢の高値あり一圓二十錢引け一圓五十錢高を示した

米況（十七日）

仁川期米

前場持合

仁川地の天候回復と場面の勢拂みに因り當の小甘きを入れたる爲め前日五一錢の貿易を試み[illegible]

▲第二節 大阪二節三節共五十一錢を指す
▲第三節 當中出來ず[illegible]
▲第四節 [illegible]
▲第五節 [illegible]

買方の宰抱處

昨後場阪地下落り[illegible]

樂觀喑警戒

阪地の[illegible]

後場沸騰

九十四錢乃至四十九錢こ

▲第一節 大阪後寄八圓四十五錢
▲新二節 [illegible]

二十丁の上放れ寄附

大阪五節五十錢の暁に入氣沸騰八十錢と飛び

米閒餘聞

昨今好い秤が出て仕手一同大喜びの態[illegible]

京城正米

[illegible]

群山正米

秋調のろし移出の買物も保合の處北三等改良一十八圓九十錢神力二十八圓五十錢所にて三千二百叺の商內あり[illegible]

內地正米强硬

十月中限二十八圓二十五錢同末限八圓三十錢現物二十八圓丁度（十七日）東京正米三十錢高大阪下關持合

東京期米

十七日前場先物 三七・一〇

大阪期米

十七日前場

各地期米

十六日後場 東京 三七・三五 兵庫 三七・〇八 桑名 三六・五三 [illegible]

兵庫期米

十七日前場寄付 三七・〇〇 止め 三七・二三

下關期米

十七日前場 [illegible]

仁川正米

[illegible]

大豆

[illegible]

在庫穀物高

九月十五日現在京城在庫穀物高左の如し[illegible]

新物三等

[illegible]

驛着穀物

九月十一日より十五日に至る南大門龍山兩驛の到著穀物左の如し[illegible]

新大豆の走

今般京城府內新大豆の出廻り[illegible]

釜山正米

[illegible]

大阪三品

錢安 倫敦銀塊相場二分の一高 米棉 一圓十[illegible]

賣買差引殘

[illegible]

株式筋買進む

[illegible]

黃海道不作

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 北島仲買店 電話長二一八番 三六六番 本店電話一七・二七二番

株式會社仁川米豆取引所仲買人 李孝健 電話長四十五番 電略（リ）又ハ（ヤマリ）

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 仲買店 電話長四〇四番 二〇二番 電略（ア）又ハ（カチメ）

仁川米豆取引所 仲買店 電話長五三六番 六〇二番

京日案內

購買公告
一、冬服 十五著外四點
右來九月二十二日午前十一時入札ス詳細ハ當府門前ニ掲示ス
京城府

招聘 [illegible]

見習 齒科醫志望の初心の男女、間十八九歲迄の者採用に付希望者申込れたし但內地人に限る 京城長谷川町 大平生命京城支部

募集 內地人通譯英文譯 並ニ會話ノ出來得ル士ヲ求ム希望者ハ本人來談アレ 姓名在社

店員 文房具販賣に經驗あるもの保證人を要す 京城大和町一丁目 旭日インキ總元 川崎商店 電話一八三〇番

招聘 齒科醫師一名技工手一名 或は代診生一名 希望者は社內小川へ

ほね つぎ くじき うちみ 一切の骨傷御依頼に應ず 京城明治町二丁目 柔術道場

古本 買入 京城本町二丁目 東京堂書店 電話三四二八番

ほね つぎ くじき うちみ 白水治療所 京城旭町二丁目廿八 荒川仁壽堂 △元町ヤソ教會に開業 電話六八

觀相 石龍子先生直傳 京城本町五丁目八拾壹番地 電話第參五壹番

恩給 及賜金類 即時低利 京城古市町三丁目 江州屋本店

恩給 年金證書 立替 證券 現金 引換 京城若草町百六番地 西村商店

金融 京城林町四十九番地 京城市石與商會

募集 綿糸布貸卸商 鬼頭支店

金融 京取建株ニ金融 明治町一ノ七 竹下

採用 [illegible]

採用 [illegible]

求職 [illegible]

店員 二十五才位のもの希望者は本人來談 あのたし 龍山榮町 平田

讓店 京城旭町一丁目 照會は左に[illegible]

仕 [illegible]

ゼニウ石鹸

財團法人 電機學校 生徒募集

栗問屋 甘栗 入荷 南大門驛前 池田商會 平壤府新倉里 池田商會出張所

鼈甲煎餅 下關ノ產 下關驛前 本舖 召セ

東株 賣べきか 買ふべきか 東株の解剖的價値 四十有餘年間の東株の推移より將來を達觀せる 日本橋區北島町二丁目 加藤株式店調査部

痔疾專門 京城久枝肛門病院 京城明治町二丁目 電話二一〇二番

朝鮮銀行 資本金 八千萬圓 拂込濟資本金 五千萬圓 積立金 九百四拾壹萬圓 總裁 美濃部俊吉

本林のキナエン丸 かぜ・ねつ おこり マラリヤ熱の良劑 藥價 廿戔、五十戔、壹円 本舖 大阪 本林丁子堂 至ル處ノ藥店ニアリ。

浮草（56）

入江新八 作　吉川早苗 畫

蟬しぐれ（四）

秋子は時枝の腰楣が、豐子とは全く反對に丸くなつて、お月樣の中の兎のやうな顏をして腰てゐるのを見ると、笑はずにはゐられなかつた。可愛らしい筈の顏立ちだけれども、どうも可愛らしいところもない。愛嬌が溢れるやうな顏立ちに此の顏が出來てゐれば、此の時枝もその容貌に一寸した取得のある女になつたのだが、その顏を惡く几帳面に澄ましてしまつてゐるので動きが取れなくなつてしまつてゐる。口元が。何んとなく三ツ口を思はせるやうに上唇が反つてゐるのも、兎の顏を想像させて來る。口の惡い豐子が『兎子』と時枝を綽名したことを此の女は非常に怨んで、その仕返しに豐子のことを『たつくりさん』と云つてゐる。暗にそれは諷したものだと云つたことなどを思ひ出して、秋子はまたをかしくなつた。

秋子は矢張り其所に立つてゐた。小野若子は部屋の中央に俯伏しになつて寢てゐた。唱歌と運動が何よりも好きなお俠な女にも似ず、俯向きになつて胸を下にして寢てゐるのは變だと秋子は思つた。身體が丈夫なやうに見えても實際はそんなに壯健なのではないのかしら、若い女が俯向いてねるのはをかしいと思つた。心臟か肺が惡いのではないかと思つたので、呼び起してやらうかと考へたが、折角皆んなが、我を忘れて、好い氣持になつてゐるのを、今呼び起すのも心無いと思ひながら默つてゐた。若子は胸を下にして、兩手を二の腕までまくつて、その手を兩方ともねぢるやうに苦しい格好をしてゐた。何でも盥の上で水泳の眞似でもしてゐる中に、眠つてしまつたといふ風である。どうしても、蛙を聯想させる姿で一方の脚と一方の脚とを鉤なりにして突き出してゐるのだが、どうしたのか、踝の處へ大きな傷跡がひきつりになつて殘つてゐる。處もあらうに、その傷の處へ蚊がとまつていやといふ程血を吸つて頬紅にほゝづき提灯のやうにふくらんでゐる。バチリと掌で叩いてつぶしてやつたら、ドンナに氣持が好いだらうと秋子は思ひ乍ら見てゐた。

女中のお峰はお尻の方を勝手の板の間へ、胴半分から頭を座敷の盥の上へ持つて來て、敷居の上へ橋み架けたやうに横はつてゐる。時々鼻から提灯を出てゐるのだが、それが若子にとまつてゐる頬紅にふくれた蚊と丁度隣合せになつて並んでゐるので秋子はをかしくて堪らなくなつた。それで思はず、何か惡戲でもしてやりたいやうな氣持になつて、傍の、その低い鼻でも摘んでやらうかと思つた時に、不圖此所に道代の居ないことに氣が附いた。秋子は先刻椽を廻つて此の部屋へ來たのは道代の顏が見たく思つたので實は來たのだつたが、來て見ると、ごろごろと皆んなが醜樣な格好をして寐てゐるのに、びつくりしてそれなり、道代のことを忘れたのだつた。併し、此の寢相の惡い女達の中に道代の姿が見えないので彼女は何處へ行つたのだらうと秋子は思つた。それで、その惡戲をすることを止して、そつと跣足をして其處を去つたのだつた。

『道代は何處へ行つたんだらう……居ないのかしら？』

と思ひ乍ら、椽側を歩いた。少し涼しい風が樹立の方から吹いて來た。庭の樹立は鬱蒼と茂つて暗かつた。その木蔭の方から涼風が少しづつ、吹いて來た。その端に木の葉の一枚一枚が新しく蘇生るやうに動き出した。併し蟬の聲は此處を先途と啼いてゐて、今日の暑さを謳歌してゐるやうである。秋子は、若や、道代が離室の方へゐるのでは無いかと思つて、庭下駄を穿いて靜かにその方へ歩んだ。蟬の聲の他には深山のやうに此森の家は靜かだつた。

パン　品質本位　神戶屋　電話二一〇五

紫燒　朝鮮元祖一切料燒所　まむし鰻蛇も取揃あり　京城大平通一ノ一九　振替京城七一八　小松商會

物理療法　京城日報代理部（電話二七四八）
施術時間は毎日午前九時から午後四時迄
△難病に悩む人は速かに物理療法を施されん事を御勸めします慢性の難病でも速かに快癒するものが澤山あります
△神經痛やリウマチス、腳氣や淋毒性關節炎、睾丸炎、神經性或はリウマチス性心臟病等は勿論のこと、慢性の胃腸病や腎臟炎や婦人病などには卓効が有ります
△癩病ルイレキ腋臭横痃や水蟲の如き頑固な皮膚病などその効驗ない病も全癒します。

京城實業藥劑師會製 ノ石油乳劑　ハ蠅、蚊蚤其他傳染病豫防ニ最モ有効ナリ　京城明治町二　電話二五二六番

印入絆天　京城南大門通二丁目（丁子屋前）　**若宮染工場**　京城魚市場隣　專門　電話二八九七番

川柳次の題

課題　『行倒れ』『友』『戀』『蛇』
賞金　天の句へ壹圓
締切　九月三十一日
句數　五句以内
宛所　本社同苑係宛
用紙　端書に限る

行倒れ
（例句）繁華な瑞穗園に行倒れ　花醉
（同）行倒れ皆は名ある男達　劍花坊

友
（例句）ちりぢりに友は大人に成りにけり　五葉
（同）友達に世話を燒かせて春同ひ　劍花坊

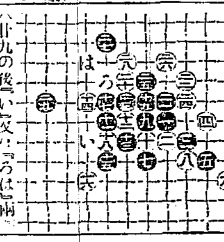
戀
（例句）戀といふことは何城つまむほど　古川柳
（同）もう戀もこれ迄なりや子が五人　劍花坊

蛇
（例句）地上權蛇はどこに迄這つて行く　劍花坊
（同）蛇光る松葉牡丹の赤い道　同

後ちる [illegible]

通信戰譜（十）

聯珠　細內　先勝　野口琴三郎（京城）　高橋素玄



（廿九の後『い』又は『ろは』兩素玄評）△三迄は形ぞ五號陸（花月）又斜口（はすびき）と稱す△十迄を七二十三八五六九四と打換へれば一號柱（峽月）に又七十三八二二九六九四とすれば十號柱（峽月）に同形となる八十一に後へ追詰は東都版の三段の苦心に成りたるものにして興味津々たり

▲附記●　通信手合は遠隔地の珠友と通信により一二珠づつ打進み行くなり通信毎に變化を考究し得るが故技倆を磨くに好適にして到局の檢討の中品を得る利あり。本社は今回珠道奬勵の爲特に五名に限り其相手を高橋二段に委囑せり、希望者は聯珠に關する經驗及棋歴其他を附記して平南線破陽驛三叉洞山高橋素玄宛至急申込みあり度し

……したお爺さん曰く稱ん渡つてドッかその邊だと如何にも得意に敎へて吳れました（小使生）▲法に國府靜雄は東京本鄕の帝大法學部へ發一です か大阪府などでも觀めば申さまぜう。（K生）▲二十一日仁川より歸路下車した時ツザ、オモ吸んで來て飲ましてーさいました驛前附近の際構内酒店にて飲料水を飲むべく厚く御禮申上ます（一青年）▲たいまれ生に皆で一度御越し下さい（御成町一〇三番地園）▲東力生様へ一月これの大のL貰ひ受け度候へども如何なる御事情の御子にや御一覽の有無其の御住など委しく承り度候出雲州公營技まで御知らせ下され度く候（忠生）▲東力生に御答へ致します一聯の所謂上御世話致します夕刻迄に轉宅まで小供をつれて御出で下さい（櫻井町二ノ九五池田電話二六四番）

小男も大男となる　伸長器の發明　器械無料貸與

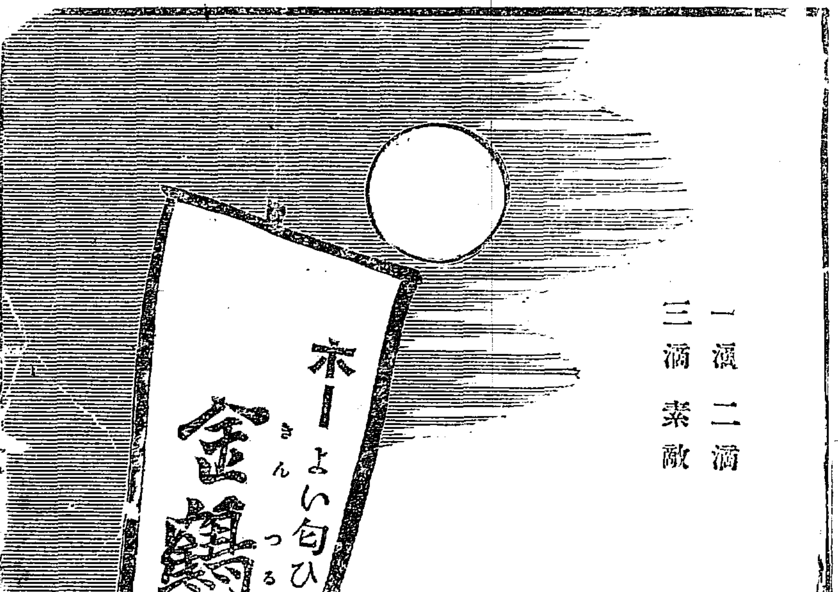
男女共背が低いと一生間何んな損か分らないが最近特許を受けた身長器は全身の骨と骨との間の軟骨を伸長せしめ身長を高める程驚くべき[illegible]一大發明である公益普及の爲希望者へ無料で貸與自宅で伸びる器械及簡便なる秘密の伸長法の詳細はハガキで申込次第[illegible]　東京小石川[illegible]

滋養 味淋 **九重**　參河國[illegible]　石川八郎治製　京城代理店　明治町山邑京城支店

生殖器りん病
短小●包莖●早漏●陰萎●其他弱い男女の生殖器に見えて劇的に病人は全快し人生の快樂を享け得らる
障害は、米國醫科大學教授ホリック博士の新學說で發明された空氣吸引療法器を用ひて家庭で手輕に自宅療法が出來る、特許の快樂器を使へば一回の使用で如何に長年の慢性病でも確實に根治して了ふ。病名を記して申込めば
圖入說明書無代密送致します。
東京神田小柳町廿八　株式會社　新療法研究所　京城黃金町一　京城支部

神經衰弱・不眠症特效
カルモチン
持久する胃障害習慣性副作用を呈せざる優秀なる鎭靜劑として神經衰弱。ヒステリー。神經性不眠症に廣く處方せらる
粉末及錠劑あり說明書御申越次第進呈
發賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衛商店　30

秋は却て日燒する……外出には必ず一滴……
美乳
を忘れてはなりませぬ！
秋は氣も輕く、澄み切つた空、草花咲き亂る野、畑を歩くに最も適して居ますがたゞ氣をお附けにならねばならぬのは、秋は汗こそ出され稍を穩らせるだけの可成り強い太陽の光線がありますから、汗するとお色を黒くします、そして其の黒さが容易に取りませんから外出の時には必ず美乳を御用意遊せ、その一滴は生地から色を白くすると同時に秋の日燒を防ぎます！
▽家庭で……美乳！　外出の時……一滴…純白美乳！
美乳本舖　矢野芳香園　130



（內科）（外科）**岩田病院**　附屬 沃度注射院
東京牧野沃度研究所顧問　正五位勳三等功四級　岩田末彦
京城長谷川町　電話一六二〇（新開門入）

平壤大和町　株式會社 **平壤銀行**　電話七二二番　電話三七四二番　振替貯金京城七九七三番
株式會社 平壤銀行鷄里派出所　平壤府鷄里　電話八六二番

天下の名釀
發賣元　合資會社　仁川府本町　堺田屋商店　電話一〇九番
支店　京城旭町一丁目　增田屋支店　電話三五四番

仁丹
金言　沈默は聰明を養ふ可き睡眠なり（ベーコン）
よく遊びよく喰べて直ぐそのあとで仁丹三粒
すれば如何なる惡疫もお腹を冒す手段なく坊っちゃん孃ちゃんピンピコピン
仁丹は……胃腸を整調し……食慾を增進し
疲勞を回復し……頭腦明晰にし
旅行や散歩に……煙草の代用に

汽車時刻（京釜線・京義線・京元線・京仁線・馬山線・南線）[illegible]
大正十五年六月一日改正